

平成17年度（第49回）  
岩手県教育研究発表会資料

道 徳

道徳的心情をはぐくむ  
道徳の時間の指導に関する研究  
- 家庭の協力を生かした指導の工夫をとおして -

平成18年1月12日  
長期研修生  
所属校 大船渡市立大船渡北小学校  
細 谷 恵 美

# 目 次

研究目的	1
研究仮説	1
研究の内容と方法	1
1 研究の内容と方法	1
2 授業実践の対象	1
研究結果の分析と考察	2
1 道徳的心情をはぐくむ道徳の時間の指導に関する基本構想	2
(1) 道徳的心情をはぐくむ道徳の時間の指導に関する基本的な考え方	2
(2) 家庭の協力を生かした指導の工夫についての基本的な考え方	2
(3) 道徳的心情をはぐくむ道徳の時間の指導に関する基本構想図	4
2 家庭の協力を生かした指導の工夫についての手だての試案	5
(1) 家庭の協力を生かした指導の工夫についての手だての試案	5
(2) 検証計画及び調査計画	5
3 授業実践及び実践結果の分析と考察	6
(1) 家庭の協力を生かした指導の工夫についての手だての試案に基づく授業実践の概要	6
(2) 実践結果の分析と考察	10
(3) 手だてに関する意識の状況	15
4 道徳的心情をはぐくむ道徳の時間の指導に関する研究のまとめ	16
(1) 成果	16
(2) 課題	16
研究のまとめと今後の課題	16
1 研究のまとめ	16
2 今後の課題	17
おわりに	
【参考文献】	
【補充資料】	

## 研究目的

道徳的心情は、道徳的価値の大切さを感じ取り、人間としてのよりよい生き方を志向する感情である。また、道徳的行為への動機として強く作用するものであり、最終的には道徳教育の目標である道徳性を養うことにつながるものである。

しかし、道徳の時間における児童の実態をみると、自分の学校や家庭での生活場面と結び付けながら、主人公の行為に対する考え方やその動機となった気持ちをとらえることのできない面がみられる。これは、指導過程の中で自分の経験と主人公の行為を重ねて考えさせる場の工夫が十分でなかったためと思われる。

このような状況を改善するには、ねらいとする道徳的価値を自分のこととして受け止めながら主人公の心情に十分共感させることが大切である。そのためには、生活の場である家庭において事前にねらいとする価値について話し合ってもらったり、価値に基づく子どもへの願いや思いを書いてもらったりして、家庭の協力を指導過程の中に生かしていく必要がある。

そこで、この研究は、家庭の協力を生かした指導方法について明らかにし、道徳的心情をはぐくむ道徳の時間の指導の充実に役立てようとするものである。

## 研究仮説

道徳の時間において、家庭の協力を以下のように指導過程の中に生かしていけば、道徳的心情をはぐくむことができるであろう。

- ・ねらいとする道徳的価値を自分のこととして受け止めさせるために、ねらいとする道徳的価値について家庭で話し合ったことを導入場面に取り入れる。
- ・主人公の心情に十分共感させるために、ねらいとする道徳的価値に基づく子どもへの願いや思いを展開場面に取り入れる。

## 研究の内容と方法

### 1 研究の内容と方法

#### (1) 道徳的心情をはぐくむ道徳の時間の指導に関する基本構想（文献法）

道徳的心情をはぐくむ道徳の時間の指導に関する基本的な考え方や意義を明らかにし、基本構想を立案する。

#### (2) 家庭の協力を生かした指導の工夫についての手だての試案

道徳的心情をはぐくむ道徳の時間の指導に関する基本構想に基づき、家庭の協力を生かした指導の工夫についての手だての試案を作成する。

#### (3) 授業実践及び実践結果の分析と考察（授業実践、質問紙法）

手だての試案に基づき、家庭の協力を生かした指導の工夫についての授業実践を行う。また、実践結果の分析と考察をすることにより、手だての試案の有効性について明らかにする。

#### (4) 道徳的心情をはぐくむ道徳の時間の指導に関する研究のまとめ

実践結果の分析と考察を基に、道徳的心情をはぐくむ道徳の時間の指導に関してまとめる。

### 2 授業実践の対象

大船渡市立大船渡北小学校 第5学年 1学級（男子13名 女子17名 計30名）

## 研究結果の分析と考察

### 1 道徳的心情をはぐくむ道徳の時間の指導に関する基本構想

#### (1) 道徳的心情をはぐくむ道徳の時間の指導に関する基本的な考え方

##### ア 道徳的心情をはぐくむことの意義

道徳的心情は、道徳的価値の大切さを感じ取り、善を行うことを喜び、悪を憎む感情のことである。人間としてのよりよい生き方や善を志向する感情であるともいえる。それは、道徳的行為への動機として強く作用するものである。

しかし、児童は、社会全体のモラルの低下や少子化、核家族や共働きの増加などの影響を大きく受け、人間関係が希薄となり他者の立場や気持ちに共感して理解しようとする意識が低くなってきている。

このことから、他者の道徳的価値に対する考え方や気持ちに共感させたり、受容させたりしながら、道徳的心情をはぐくむことが必要であると考ええる。

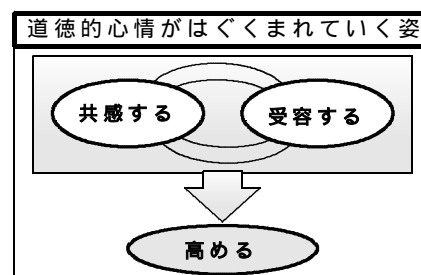
##### イ 道徳的心情をはぐくむことについてのとらえ方

道徳的心情がはぐくまれた児童の姿を、「道徳的価値の大切さを自分のこととして受け止めながら、よりよく生きようとする思いを高めていこうとする児童」ととらえた。道徳的価値の大切さを自分のこととして受け止めるとは、他者の考え方や気持ちに共感し、共感したことを自分の考え方と比べながら道徳的価値のよさを受容することである。そして、共感したり、受容したりすることで、よりよく生きようとする思いを高めていくことができると考える。

##### ウ 道徳的心情がはぐくまれていく姿

道徳的心情は、道徳の時間においてねらいとする道徳的価値の大切さに共感したり、受容したりすることで、よりよく生きようとする思いを高めていくものである。

本研究における「共感する」とは、他者の気持ちに気付き、同じような気持ちになることである。「受容する」とは、他者の考え方を自分の考え方と比べながら、よさを取り入れようとすることである。「高める」とは、自分の生活を見つめ直し、よりよく生きようとする思いをもつことである。児童の意識の中では、「共感する」と「受容する」ことが常にかかわり合い、自分の考えと他者の考えを見つめながら道徳的価値のよさに気付くことができると考える。そして、よさを取り入れようとすることでよりよく生きようとする思いを高めることができ、道徳的心情がはぐくまれていくと考える。



そこで、本研究では、道徳的心情がはぐくまれていく姿を【図1】のように考え、研究を進めるものとする。

【図1】道徳的心情がはぐくまれていく姿

#### (2) 家庭の協力を生かした指導の工夫についての基本的な考え方

##### ア 家庭の協力を生かした指導を行う意義

道徳の時間は、児童一人一人が、ねらいとする道徳的価値とのかかわりにおいて自己を見つめ、主体的に道徳的実践力を身に付けていく時間である。

児童の実態をみると、自分の学校や家庭での生活場面と結び付けながら、主人公の行為に対する考え方やその動機となった気持ちをとらえることができない面がある。そこで、児童にとって一番身近であり、具体的にイメージしやすい家庭での出来事やその時の気持ちを指導に取り入れることにより、主人公の行為と自分の生活場面を結び付けて考えさせることが

できると考える。また、ねらいとする道徳的価値にかかわる家庭からの願いや思いは児童の心を揺さぶり、自分のこととして受け止めながらよりよく生きようとする思いを高めることができると考える。

#### イ 本研究で取り上げる道徳的価値

本研究では、家庭の協力を生かすことによって、より効果的に道徳的心情がはぐくまれると考えられる道徳的価値を、以下の三つの観点からとらえた。

- ・ 家庭で、道徳的価値にかかわる子どもの生活場面が想起しやすいもの
- ・ 家庭で、子どもから受けたねらいとする道徳的価値にかかわる行為や、その時の気持ちが想起しやすいもの
- ・ 家庭生活に密着しており、成長する上で子どもへの強い願いや思いをもつと思われるもの

このことから、家庭の協力によって道徳的心情がはぐくまれると考えられる道徳的価値を【表1】に示す。この五つの価値項目は、どの家庭でも子どもへの願いや思いをもっているものであり、授業をするに当たって事前に家庭でねらいとする道徳的価値についての話し合いが行われやすいものとする。

**【表1】家庭の協力によって道徳的心情がはぐくまれると考えられる道徳的価値**

価値項目	
1 - (1)	思慮・反省、節度・節制
2 - (1)	礼儀
2 - (2)	思いやり、親切
2 - (5)	尊敬・感謝
4 - (5)	家庭愛

「注」価値項目は、「小学校学習指導要領 解説道徳編」の内容項目に準ずる

#### ウ 家庭の協力を生かした指導の工夫の内容と進め方

本研究では、家庭の協力を生かした指導の工夫として、「家庭における事前の話し合い」と「子どもへの願いや思い」の二点を指導過程に取り入れて研究を進めていくこととする。

##### (ア) 家庭における事前の話し合い

事前の話し合いとは、道徳の時間で取り扱う道徳的価値にかかわる子どもの出来事について、これまでの生活を基に話してもらい、聞いた内容とそのときの気持ちを児童がカードに記録することである。発達段階によっては、家庭で価値について深まりのある話し合いをすることに抵抗もあると思われる。そこで、聞いてカードに記録することとした。この活動をすることで、授業の中で自分の生活を振り返ることができない児童にとって、自分を見つめるきっかけとなり、そのときの気持ちを考えようとする意識がはたらくと考える。

授業では、導入のねらいとする価値に気付く場面で、カードを基に価値にかかわる自分の出来事とその行為をしたときの気持ちを発表させ、ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。このことにより、展開の資料の内容を把握する場面で、主人公の行為や気持ちとカードに記入した自分の出来事や気持ちを重ねながら考えていくことが可能になると考える。

##### (イ) 子どもへの願いや思い

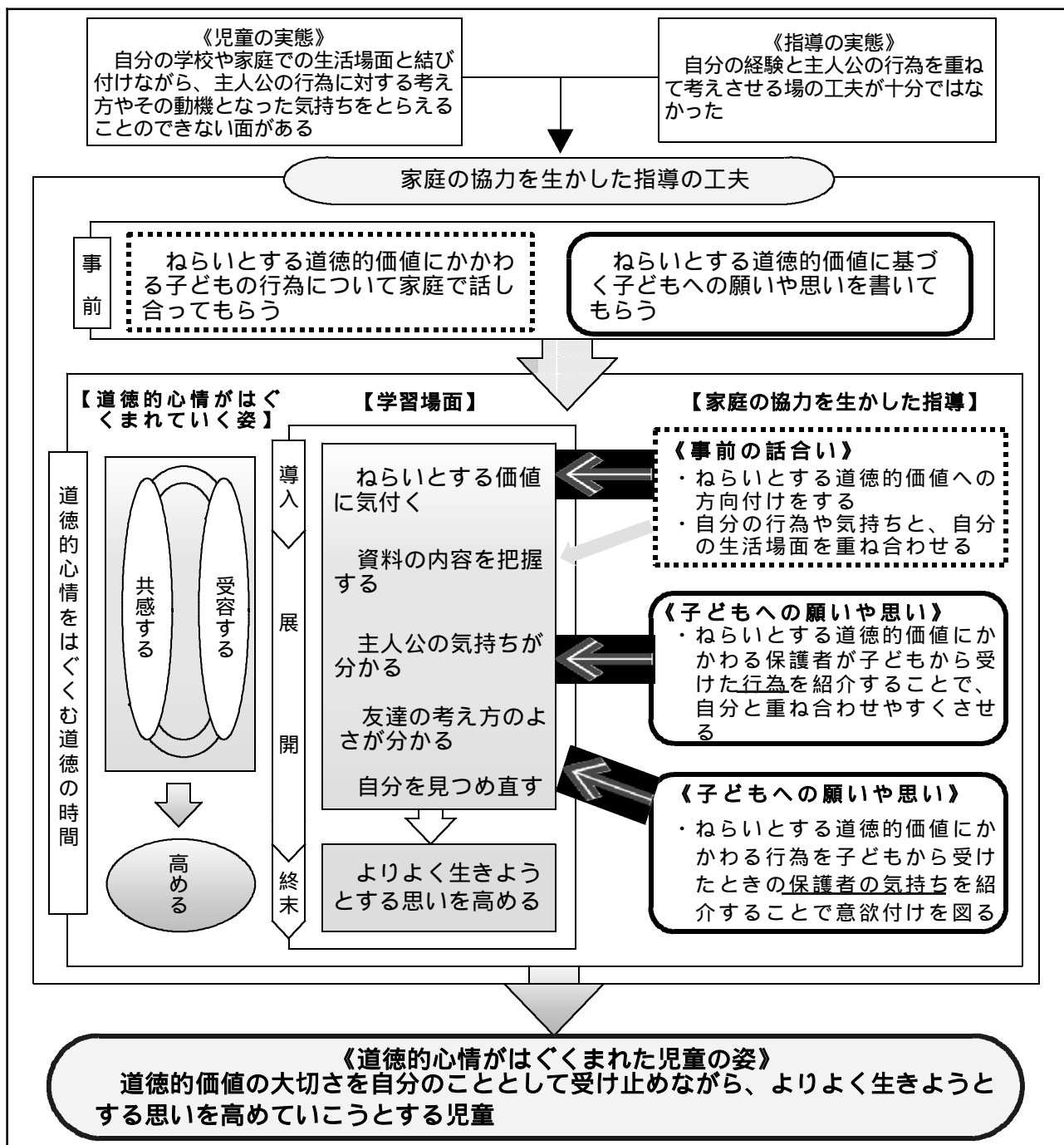
子どもへの願いや思いは、保護者からカードに書いてもらう。書いてもらう内容は、子どもから受けた道徳的価値にかかわる行為とそのときの気持ちや思いである。このカードは、教師が持っていて、指導過程の展開の中で活用する。カードを書いてもらう際には、協力を得るために、事前に書面にてカードの意図や内容について具体例を保護者に示しながらお願いする。

展開の主人公の気持ちが分かる場面で、道徳的価値にかかわる主人公の行為に十分共感できない場合に、カードを基に子どもの出来事を教師が紹介する。これは、身近な出来事を紹介することで主人公と自分を重ね合わせて考えることができると考えるからである。また、児童は、今までの自分の考え方や気持ちに気付くことで、自己理解を深めることもできると考える。

展開の自分を見つめ直す場面では、最初に、カードに書いてもらった道徳的価値にかかわる行為を子どもから受けたときの保護者の気持ちを教師が紹介する。これは、相手の気持ちを理解することにより、自分を見つめ直してよりよく生きようとする意欲付けを図ることにつながると思われる。

(3) 道徳的心情をはぐくむ道徳の時間の指導に関する基本構想図

これまで述べてきたことを基に、道徳的心情をはぐくむ道徳の時間の指導に関する基本構想図を【図2】のように作成した。



【図2】道徳的心情をはぐくむ道徳の時間の指導に関する基本構想図



【表2】検証計画

検証項目	検証内容	検証方法	処理・解釈の方法
意識の変容状況	道徳的心情の高まり	・授業記録や学習シートの記述  (価値項目ごと)	・児童の発言や学習シートの記述により、意識の状況を【表3】に基づいて分析・考察する
		・授業実践の前後に実施する評定尺度を設けた質問紙	・サイン検定により意識の状況を分析・考察する

【表3】道徳的心情の高まりについての分析の観点

分析の観点		価値項目	児童の発言・記述内容		
			礼儀 2-(1)	思慮・反省、節度・節制 1-(1)	思いやり、親切 2-(2)
共感する	ねらいとする道徳的価値に対する他者の気持ちに気付き、同じような気持ちになっている	・がっかりした ・どうしてだろう ・明るくなる ・優しくなる	・うらやましいなあ ・私も欲しいなあ ・買ってくれたっていいのに ・むしゃくしゃするなあ	・おばあさんが困っていたから ・みんなも困るから ・どうして怒られるの ・手伝わなければよかった	
受容する	ねらいとする道徳的価値に対する他者の考えと自分の考えを比べながらよさを自分の考えにも取り入れようとしている	・人の気持ちを優しくしてくれる ・何となく許してあげたくなる ・相手との距離が縮まる	・弟は買うのをがまんして借りていた ・古くなったり壊れたりしても、工夫して使っている	・おばあさんのためになったから、手伝ってよかったな ・男の子が迷子にならなかったから、手伝ってよかったな	
高めめる	ねらいとする道徳的価値の大切さに気付いたことで、自分の生活を見つめ直しながらよりよく生きようとする思いを、書いたり、話したりしている	・挨拶をするとお互いに気持ちよく生活ができるので、進んでやっていきたい ・相手の気持ちを考えて話したり、行動したりしていきたい	・新しい物が出るとすぐに欲しがっていたけど、ある物を大切に使いついでに ・買ってもらった物もすぐ飽きていたので、よく考えてから買うようにしましょう	・これからは知らない人でも、困っているときは助けてあげたい ・お礼を言われるためではなく、相手の立場や気持ちを考えて行動していきたい	

「注」道徳的心情がはぐくまれると思われる五つの価値項目のうち、授業実践を行う三つの価値項目について載せたものである

### イ 手だてに関する意識の状況を見るための調査計画

指導の手だてが児童にどのように受け入れられたかを把握するために、手だてに関する意識の状況にかかわる調査計画を【表4】のように作成した。調査は、毎時間の授業後に実施した。

【表4】手だてに関する意識にかかわる調査計画

調査項目	調査内容	調査方法	処理・解釈の方法
手だてに関する意識の状況	家庭の協力を生かした指導を取り入れた道徳の時間の意識の状況	評定尺度を設けた質問紙による意識調査を授業実践後に実施	プラス反応、マイナス反応の割合により分析・考察する

## 3 授業実践及び実践結果の分析と考察

### (1) 家庭の協力を生かした指導の工夫についての手だての試案に基づく授業実践の概要

手だての試案に基づき作成した指導展開案に従い、大船渡市立大船渡北小学校第5学年1学級(男子13名 女子17名 計30名)を対象に、全3時間の授業実践を行った。7～9頁に示す【資料1】【資料2】【資料3】は、授業実践の概要である。



【資料1】授業実践1の概要

資料名	資料名「よいあいさつが、よい出会いをつくる」(学研) 2-(1)礼儀
ねらい	場に応じた言葉を使い、気持ちのよい挨拶ができるような心情を育てる。
内容	登校時、進は、交通整理のおじさんに挨拶をしようとしたが出来なかった。進の学級では、帰りの会で挨拶について話し合い、大切さを確認した。その日の帰り道、かよこ達は進のお母さんに会い、自分達から挨拶をした。そしたらおばさんの顔が明るくなり、みんなの心も明るくなった。その様子をかよこは、「あいさつって、心を開く秘密のかぎみたい」と表現した。

事前	ファミリーカード (児童が記入) 1、自分の、友達や大人の人に対するあいさつや言葉づかいや態度など、気を付けて欲しいと感じた出来事を、おうちの人から聞いて書きましょう。 2、1で書いた出来事とき、どうしてできなかったのか、そのときどんな気持ちだったのか、思い出して書きましょう。	ハートフルカード (親が記入) 1、子どもの挨拶や態度、言葉づかいなど礼儀にかかわることで、自分がされて嬉しかったと感じた出来事があつたら書いてください。 2、1に書いた出来事とき、どんな気持ちや思いをもったか書いてください。
----	---	---

学習場面 1-6 (T:発問、C:発言・つぶやき)	ファミリーカードを基に発表	ハートフルカードの紹介	手だて	・児童の様子
------------------------------	---------------	-------------	-----	--------

導入	1、ねらいとする価値に気付く T: 挨拶や言葉遣いで、気を付けて欲しいと言われたことは、どんなことですか。 C1: 家にお客さんが来たとき、自分から挨拶ができなかったので気を付けましょう。 C2: 人に言われたことは、素直に聞き入れるようにしましょう。	ファミリーカード1の設問から、挨拶、言葉遣い、態度という観点から意図的指名により発表させた。
----	---	--

展開	2、資料の内容を把握する T: 挨拶をしようとしていても挨拶ができなかったとき、どんな気持ちでしたか。 C: (反応無し) T: みんなもファミリーカードにやろうと思ってもできなかったことが書いてあったんだけど、その時の気持ちを思い出してみよう。 C3: できなかった。やりたかったけど・・・。 T: 例えば、みんなが先生に挨拶しようとしたのに、先生は用事を思い出して向こうへ行っちゃったろう。 C4: 残念だなあ。 C5: ショック。 C6: がっかり。 C7: なんかいやだなあ。 T: そうだよな、進君もみんなと同じ気持ちになったと思うんだよな。	反応がなかったので、ファミリーカード2で書いた気持ちに振り返らせた。  ・まだ反応がなかったので、具体例を示したところ、C4-C7のような反応が出てきた。
----	--	---

展開	3、主人公の気持ちがわかる T: 「あいさつは、こわばった空気を和らげてくれる」というのは、どんなことなのだろう。 C: (反応無し) T: これと同じようなことが家でもあったようなので、紹介します。 「どんなにけんかをして、必ず「おやすみなさい」と言い、自分が悪いときは「今日はごめんなさい」と言ってから寝る。」 「仕事で夕飯が遅くなっても、いやな顔せずニコニコと「いただきます。ごちそうさま。」と食べてくれる。」 C: すごい。 C: ええ～。 T: けんかをしてると、いやな空気があるよね。でも、挨拶することで和らげてくれるというのは、心がどうなるということを言いたかったのかな。 C8: 明るくなる。 C9: 元気になる。 C10: 心が優しくなる。 C11: 心が温かくなる。	反応がなかったので、ハートフルカード1の設問から、親が子どもから受けた礼儀にかかわる嬉しかった出来事を紹介した。  ・児童は、身近な出来事であるためでも興味を示し、ねらいの『気持ちのよい』にせまるようなC8-C11のような発言がみられた。
----	--	---

展開	4、友達の考え方のよさがわかる T: 「あいさつって心を開く秘密のかぎみたい」というのは、どういうことなのだろう。 C12: 暗い気持ちが明るくなれるから、心を開くという言葉を使った。 T: 今度は、みなさんが挨拶したとき、おうちの人やどんな気持ちになったか紹介します。 「朝けんかしていやな気持ちでも「行ってきます」と言われると気持ちも切り替えられます。」 「仕事で遅く帰ってきたとき、「遅かったね、疲れたでしょう」と言ってくれた言葉がとても嬉しくて、疲れも忘れてしまうような感じでした。」 C12: だれ、だれ。 C13: うわ～、優しい。 C14: 女子じゃないの。	『礼儀』という価値の大切さを感じ取らせるために、ハートフルカード2の設問から、保護者の気持ちや思いを紹介した。  ・実践1時間目ということもあり、誰のことなのか知りたいという思いを強く、興味を示した。
----	--	--

終末	5、自分を見つめ直す T: 今までの生活を振り返って、今日の学習を基に感じたことを書きましょう。 C15: 今までの自分の生活を振り返って、今日の学習をもとに感じたことを書きましょう。 「わたしは、山道を通るので、あまり人には、会いませんが、今日の朝に、車に乗っている人が窓をあけて、「おはよう」と言ってくれました。その時わたしも挨拶をしています。かえすことができた。きもちよく挨拶ができれば、その1日が、いい1日になるような気がしたからです。「よいあいさつが、よい出会いをつくる」という話にもあったように、「あいさつ、心を開くかぎのかぎみたい」とわたしも思いました。これから、自分からあいさつをしていきたいです。」 挨拶をする側とされる側の気持ちを理解した上での表現に思われる。	6、よりよく生きようとする思いを高める T: 教師の説話 今までの自分の生活を振り返って、今日の学習をもとに感じたことを書きましょう。 「言葉遣いなどには気を付けて、いたけど、知り合いの人には、外語で話したの悪かったなと反省してました。それに私は、「早く、わたしに同じ気持ちをした事がありました。その次月にはお父さんとあいさつしてまた安心した気持ちになりました。だから、自分も頑張りたいなと思えました。なにか、これから、知ってる人知らない人にも、ちゃんと挨拶したいなと思います。」 ファミリーカードで、言葉遣いについて気を付けて欲しいと言われた児童である。
----	---	--

【資料2】授業実践2の概要

	<p>資料名 <b>資料名「流行おくれ」(東京書籍) 1-(1) 思慮・反省・節度・節制</b></p> <p>ねらい <b>自分の言動を振り返り、節度ある生活をしようとする心情を育てる。</b></p> <p>(内容) 主人公のまゆみは、社会科見学で友達が着ていく流行のジャケットが欲しくてたまらなくなる。このことをめぐる母親や弟とのやりとりを通して、自分自身の生活を振り返り、節度ある生活をしていこうとする内容である。</p>
事前	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">ファミリーカード (児童が記入)</p> <p>1、もう少し物を無駄にしないで大切にしたいと感じた出来事を、おうちの人から聞いて書きましょう。</p> <p>2、1で書いた出来事のと、どうしてできなかったのか、そのときどんな気持ちだったのか、思い出して書きましょう。</p> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">ハートフルカード (親が記入)</p> <p>1、子どもが、物を無駄にしないで工夫しながら大切に使用して良いと感じた出来事があったら書いてください。</p> <p>2、1に書いた出来事のと、どんな気持ちや思いをもったか書いてください。</p> </div> </div>
導入	<p>学習場面 1~6 (T:発問、C:発言・つぶやき)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <span>ファミリーカードを基に発表</span> <span>ハートフルカードの紹介</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 65%;"> <p>1、ねらいとする価値に気付く</p> <p>T: もう少し物を無駄にしないで大切にしたいと感じた出来事は、どんなことですか。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>C1: 「みんなが持っているから、お姉達ばかり」など、欲しいと思う物はどうしても手に入れたい。手に入れても、見向きをしない物もたくさんある。</p> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>C2: 欲しくて買ったはずのカードを部屋に散らかしたままにする。</p> </div> </div> <p>T: どうして、そうなったのかな。その時、どんなことを思いましたか。</p> <p>C1: 買ってもらわないとふてくされて、なんでお姉ちゃんだけ・・・と思う。</p> <p>C全: あるある・・・。うちもお兄ちゃんだけ。うちは妹だけ。</p> <p>C2: 後で片付けるつもりだった。</p> <p>C男: あるある・・・。</p> </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>手だて ・ 児童の様子</p> <p>ファミリーカード1の設問から、「流行に影響される」「欲しくて買った物なのに飽きて大事にしない」という観点から、意図的指名により発表させた。</p> <p>C1、C2にファミリーカード2の設問を基に、物を無駄にしたり、大切にできなかったときの気持ちを発表させた。</p> <p>・多くの児童が共感していた。</p> </div> </div>
展開	<p>2、資料の内容を把握する</p> <p>T: 新しいジャケットをみどりが社会科見学に着ていくことを知って、まゆみはどう思ったでしょう。</p> <p>C3: まゆみと同じようにうらやましいと思うけど、友達と同じ服は着たくない。</p> <p>C4: うらやましい、欲しい。</p> <p>C5: 服じゃなくても、友達が持っている欲しくなるかも。</p> <p>T: たまたま服だったけど、他の物ならどう。</p> <p>C6: ゲームだったら欲しいかも。バットとか、ボールだったら欲しい。</p> <p>C男: ああ、俺も。</p> <p>3、主人公の気持ちがわかる</p> <p>T: まゆみは、自分の部屋にかけ上がりながら、どんなことを考えたでしょう。</p> <p>C7: 許してくれなかったからすごく頭にきて、「なんだこの」とたまに私もお母さんに言う。</p> <p>C8: なんで友達は買ってもらっているのに、私だけって思う。</p> <p>C9: お母さんは、私にたのむといつもああなんだから。</p> <p>T: 自分の部屋にいた弟に、大声で怒ったよね。どんな気持ちからですか。</p> <p>C10: お母さんにも気に入らないことを言われて、弟が勝手に入っていて八つ当たりした。</p> <p>C11: むしゃくしゃした。</p> <p>4、友達の考え方のよさがわかる</p> <p>T: わたるの話聞いたまゆみは、どんなことを考えたでしょう。</p>
終末	<p>T: しいんとした部屋でまゆみは、どんなことを思ったでしょう。</p> <p>C12: こんなに散らかしていたら、買ってもらえなくて当たり前だな。</p> <p>C13: これからは、自分も物を大切にしよう。</p> <p>C14: お母さんにもわたるにも謝らなきゃ。</p> <p>T: まゆみに足りなかった気持ちは何だろう。</p> <p>C15: 物を大切にすること。</p> <p>C16: がまんする気持ち。</p> <p>T: みなさんには、こんな気持ちを持った人がたくさんいたようなので紹介します。</p> <p>C全: ええ～。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>お下りの洋服も不満を言わず着てくれるのでありがたく嬉しいです。外見や見栄にとらわれず、多少の不都合があっても物を大切に使うという気持ちを持ち続けて欲しいです。</p> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>どんな物でも、古くなるまで大切に使用しています。保育園の頃から使用している物でも、「もったいない、懐かしい」と言って、思い出を大切にしながら使ってくれて嬉しかったです。</p> </div> </div> <p>5、自分を見つめ直す</p> <p>T: 今までの生活を振り返って、今日の学習を基に感じたことを書きましょう。</p> <p>C17</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>自分の弱さを素直に記述している。</p> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>自分の悪い面と良い面のどちらも素直に受け止めている。</p> </div> </div> <p>C18</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>今までは、ずっと大切にしていた物も、たいてい、最近では、すぐあきらめることが多くなり、気がついたら、思っていたよりも、早く「壊れた」と思ったり、壊れたものを、大切にしている物も、これからは大切にしたいと思います。</p> <p>今日の勉強で強く思ったのは、流行にあわせようと思えば、よくないことだと前より思ったり、ちゃんとよく考えたら、買うことがいらないなあと思いました。</p> </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>ねらいとする価値が、みんなの行動にも存在していることを知らせた。さらに、気持ちを高めさせるために、ハートフルカード2の設問から、物を大切に使用していたときの保護者の気持ちや思いを紹介した。</p> <p>・1時間目より、真剣に聞く児童が増えてきた。</p> </div> </div> <p>6、よりよく生きようとする思いを高める</p> <p>T: 教師の説話</p>



【資料3】授業実践3の概要

資料名 ねらい 内容	<b>資料名「くずれ落ちたダンボール箱」(東京書籍) 2-(2)思いやり、親切</b> <b>困っている人を見たらその人の身になって考え、親切にしようとする心情を育てる。</b> 孫が崩してしまったダンボール箱を、おばあさんに代わって「わたし」と友達の友子が整理をする。しかし、事情を知らない店員に叱られてしまう。3学期の始業式で、店員からの謝りの手紙を聞いて二人の心は明るくなる。		
事前	<b>ファミリーカード</b> (児童が記入) 1、自分の、優しさを感じられた出来事を、おうちの人から聞いて書きましよう。 2、1で書いた出来事とき、どうしてやさしくしてあげたのか、そのときの気持ちを思い出して書きましよう。	<b>ハートフルカード</b> (親が記入) 1、自分が、お子さんに優しくされて、うれしかったと感じた出来事があったら書いてください。 2、1に書いた出来事とき、どんな気持ちや思いをもったか書いてください。	
学習場面 (T:発問、C:発言・つぶやき)	ファミリーカードを基に発表	ハートフルカードの紹介	手だて ・児童の様子
導入	1、ねらいとする価値に気付く T : おうちの人から聞いてきた「自分の優しいなあ」と思えた出来事と、どんな気持ちからそのよなことをしたのかを発表してもらいます。 C 1 : 友達が困ったときに、助けてあげる。それは、友達が困っていると自分のことのように思って考えてしまうし、友達も自分のことを思ってくれるからです。 C 2 : お母さんの体の調子が悪いとき、「大丈夫」と心配そうに声をかけて手伝ってくれる。それは、もちろん心配するし、何も言わないよりは声をかけた方が相手も少しは元気になると思ったからです。 T : 2人とも優しい気持ちからですね。		ファミリーカード1、2の設問から、「相手のことを考えている」という観点から意図的指名により、出来事とその行為をしたときの気持ちを発表させた。 ・多くの児童から、「優しい」という言葉が聞こえてきた。
展開	2、資料の内容を把握する T : 「わたし」は、どうしてダンボール箱の片付けを手伝うことにしたのでしょうか。 C 3 : 男の子が先に行ってしまうと、迷子になると困るから。 C 4 : おばあさんが、男の子を心配しているのが分かったから。 C 5 : おばあさんが、年をとって大変そうだったから。 C 6 : 男の子を連れて歩くだけでも大変なのに、ダンボールを片付けてから探すのは大変だから。 3、主人公の気持ちが分かる T : 店員にしかられたとき、「わたし」は、どんな気持ちだったでしょう。 C 7 : 気持ちがむしゃくしゃした。 C 8 : 人のためにやったのに、なんで怒られるの。 C 9 : こんなことなら、片付けてやらなきゃよかった。 C 10 : 良いことをしたのに、むかつきた。 4、友達の考え方のよさが分かる T : おばあさんにお礼を言われたとき、「わたし」はどんな気持ちになったでしょう。 C 11 : お礼を言われて手伝って良かったと思うけど、やっぱりすっきりしない。 T : 「わたし」の足取りがリズムに乗って、いつもより軽やかだったのはどうしてでしょう。 C 12 : 校長先生に褒められたし、店の人にお詫びの手紙をもらって良かったなあと思ったから。 C 13 : 店員さんも分かってくれて、校長先生からも褒められたから嬉しい気持ちになって手伝って良かったと思ったし、自分のためにもおばあさんのためにも良かった。 T : おばあさんを手伝ったのは、褒められたり、認められたりしたからですか。 C 14 : 困っている人がいたからだと思います。 T : 相手のことを思いやったんだね。		・相手の意識したC3～C6の発言がみられた。 主人公の気持ちに共感した発言C7～C10が多くみられたので、ハートフルカード1の活用は行かなかった。 ・Tの発問に対する反応として、見返りを求めるような傾向が感じられたので、Tの発問により相手のことを思いやっったことなのかどうかを確認した。
開	T : 今日は、みんなに親切にされたとき、おうちの人どんな気持ちになったのか紹介します。 買い物で荷物が増えたとき、「俺が持つてやるよ」と荷物を持ってくれた。大変そうなのを見て、行動に移してくれたのが嬉しかった。他の人にも、優しくしてくれたら良いなあと思った。 親の体調が悪いと、食事の世話やマッサージなど、自分ができることを進んでやってくれる。子どもの成長や優しさ感謝し、嬉しく思った。相手の立場や気持ちを理解し、人に優しく接することができる強い人間になって欲しい。 5、自分を見つめ直す T : 今までの生活を振り返って、今日の学習を基に感じたことを書きましよう。 C 15 : この前、病院に行くとき、座席の向かい側の人のぼうしがおちていた。お母さんがそのぼうしを私に気づかしてあげてくれました。言葉も後すしとまじなげに気づいてあげてくれた。言葉も後すしとまじなげに気づいてあげてくれた。言葉も後すしとまじなげに気づいてあげてくれた。 C 16 : 『思いやり、親切』という価値の大切さを感じ取らせようと考え、ハートフルカード2の設問から、気持ちや家族の思いを紹介した。 ・3時間目ともなると、このメッセージを楽しみにするようになってきた。		『思いやり、親切』という価値の大切さを感じ取らせようと考え、ハートフルカード2の設問から、気持ちや家族の思いを紹介した。 ・C16は、C9の発言をした児童であるが、自分の思いを書ききれなくて、学習シートの裏にまで書いていた。
終末	6、よりよく生きようとする思いを高める T : 教師の説話 前向きな考え方のきっかけとなった気持ちを感じられる。 親切にしようとする対象の広がりが感じられる。		



(2) 実践結果の分析と考察

道徳的心情の高まりの状況について、授業記録と学習シートの記述内容を6頁【表2】の検証計画に基づいて、授業実践毎に分析と考察を行った。文中に示すT（教師の発問）とC（児童の反応）及び番号は、授業実践の概要と対応している。また、資料中のSはシートを、~~~~は「共感する」にかかわる部分、-----は「受容する」にかかわる部分、====は「高める」にかかわる部分の記述を表している。

ア 礼儀について（価値項目2-（1）よいあいさつがよい出会いをつくる（学研））

(ア) 道徳的心情の高まりの状況

「共感する」「受容する」についての状況

【資料4】は、「共感する」にかかわる授業記録の抜粋である。Tの主人公に共感させる発問に対する反応がなかった。そこで、自分の生活と結び付けて考えることで共感させやすくしようと考え、ファミリーカードに振り返らせた（T）。しかし、まだ反応がなかったため、具体的な場面（T）を示した。そのことにより、C4~7のような「残念だなあ。」「なんかやだなあ。」など、主人公のすっきりしない気持ちに共感できたと思われる発言がみられた。また、Tも共感させるために行った発問であるが、反応がなかったためハートフルカードから、気持ちのよい挨拶や態度が心を和らげてくれたという出来事を紹介した。その結果、友達の同じような出来事を聞いたことで、主人公に共感でき、価値のよさに気付き受容したと思われるC8~11の「心が優しくなる・温かくなる」などの発言がみられた。

【資料5】は「受容する」にかかわる学習シートの記述である。どちらも、挨拶のよさに共感した発言を受けて受容したものである。S1は、「知らない人でもあいさつをして元気にしてあげたい」という記述から、挨拶のよさを受容したものと考える。S2は、友達を感じた気持ちや親の気持ちから、「あいさつをすると、明るくなる、うれしくなる」といった、挨拶のよさを感じ取り受容していることが感じ取れる。他の児童についても、同じような記述がみられた。

以上のことから児童は、共感と受容をかかわらせながら、ねらいとする道徳的価値を自分のこととして受け止めることができたにとらえる。

【資料4】授業記録から

T : 挨拶しようとしてもできなかったとき、どんな気持ちでしたか。  
C : (反応無し)  
T : みんなもファミリーカードに書いた気持ちを思い出してみて。(反応無し)  
T : 例えば、先生に挨拶しようとしたのに、先生は用事を思い出して向こうに行ってしまったらどう。  
C4 : 残念だなあ。 C5 : ショック  
C6 : がっかり。 C7 : なんかやだなあ。  
T : そうだね。進君もみんなと同じ気持ちになったと思うんだよね。  
T : 「あいさつは、こわばった空気を和らげてくれる」というのは、どんなことなのだろう。  
C : (反応無し)  
T : 略(ハートフルカードからの紹介)  
T : けんかをしてると、いやな空気があるよね。でも、挨拶することで和らげてくれるというのは、心がどうなるということを書いたかったのかな。  
C8 : 明るくなる。  
C9 : 元気になる。  
C10 : 心が優しくなる。  
C11 : 心が温かくなる。

【資料5】学習シートから

S1 「心が温かくなる」という言葉で、知らない人でもあいさつをして元気にしてあげたいし、単語で話さないように文で話すことを努力していきたい気持ちになりました。  
S2 あいさつをすると、気持ちが明るくなるとかうれしくなるとかに気付いて、あいさつってすごく大切なんだなあと思いました。

「高める」についての状況

【資料6】は「高める」にかかわる学習シートの記述である。S3は、挨拶を心情面と態度面からとらえたものである。学習したことを基に、相手が気持ちよくなるような、より高い意識で挨拶をしていこうとする意欲が感じられる。

S4は、挨拶のよさを感じ取ったことでこれまでの自分を反省し、これからは積極的に挨拶をしていきたいという強い前向きな思いが感じられる。

他の児童についても、同じような記述がみられた。どちらも共感・受容した後に、ハートフルカードで挨拶されたときの親の気持ちや願いを紹介したことで、高められた内容になったものとする。

意識の変容状況

【表5】は、意識の変容状況をみるための事前事後調査の結果をまとめたものである。

どちらの設問においても、サイン検定で有意差が認められた。

設問1では、事前調査の時点でプラス反応を示した児童が多数みられたので、普段から挨拶への意識が高いことが分かる。その中で、プラス変容に転じた児童が13名みられたのは、ファミリーカードやハートフルカードで相手の気持ちを意識させたことで、挨拶のよさに気付いたためだと考える。これは、オからアに転じた児童が2名もいることから考えられる。

設問2では、礼儀という広い観点で聞いたものであるが、プラス変容に転じた児童が半数みられた。特に、イ・ウからの変容が多くみられた。これは、ハートフルカードで言葉づかいや態度面について触れた記述を紹介したことで、児童の心に響いたものとする。反対に、マイナス反応に変容した児童が2名みられた。しかし、手だてに関する意識調査においては、2名とも好感的に受け止めていた。授業の視点が挨拶だったため、ていねいな言葉づかいや態度に目が向かなかったものとする。

以上、家庭の協力を生かした指導の工夫により、礼儀〔価値項目2-(1)〕についての道徳的心情が高められたと考える。

### 【資料6】学習シートから

- S3 今まであいさつはしていたけど、あいさつされた人の気持ちを考えたことはありませんでした。勉強して、あいさつのよさを知ることができました。これからは、大きな声で相手が気持ちよくなるように、きちんとあいさつをしたいと思いました。
- S4 あいさつをすると、された人もした人もいい気持ちになるから、これからは、前みたいにたまにじゃなく、毎日会った人に自分からあいさつをしたいです。

【表5】道徳的心情の高まりの意識の変容状況 2-(1)

N = 29 (単位: 人)

設問内容			後					検定値	
	前		ア	イ	ウ	エ	オ		計
1 あなたは、自分から進んで、気持ちのよいあいさつをしようと思いますか。		ア	9	1	0	0	0	10	2.25 *
		イ	6	0	2	0	0	8	
		ウ	1	3	4	0	0	8	
		エ	0	0	1	0	0	1	
		オ	2	0	0	0	0	2	
	計		18	4	7	0	0	29	
2 あなたは、友達や年上の人と話すとき、相手を見ながら話したり、場に応じていねいな言葉で話したりなど、言葉づかいや態度に気を付けようと思いますか。		ア	4	0	0	0	0	4	2.92 *
		イ	4	6	0	1	0	11	
		ウ	1	6	2	0	1	10	
		エ	0	0	1	0	0	1	
		オ	0	2	0	1	0	3	
	計		9	14	3	2	1	29	

「注」1 事前調査は8月25日に、授業は8月31日に、事後調査は8月31日に実施した。  
 2 調査はア～オの5肢選択で行った。ア・イはプラス反応、ウはどちらともいえない、エ・オはマイナス反応とし、ア・オを各々強い反応とした。  
 3 検定地の欄の\*は有意水準5%で有意差があることを表す。  
 4 サイン検定の公式は次のとおりである。事前から事後への「プラス変化」をL1、「マイナス変化」をL2とする。  

$$Z = \frac{|L_2 - L_1| - 1}{\sqrt{L_1 + L_2}}$$
  
 5 以下、本研究におけるサイン検定の方法はこのとおりとする。

(ア) 道徳的心情の高まりの状況

「共感する」「受容する」についての状況

【資料7】【資料8】は、「共感する」「受容する」にかかわる授業記録の抜粋である。Tの主人公に共感させる発問をしたところ、男子の反応が少なかった。そこで、ファミリーカードの新しい物や友達が持っている物をすぐ欲しいといった内容を生かして、C5の「服じゃなくても」という発言を受け、Tの「他のものならどうか」という補助発問をした。そのことにより、C6のような洋服以外の物へと広がりが見られ、共感する児童が増えた。また、C5、6の発言内容とファミリーカードの内容が一致していた。事前に家庭で話し合われていたことが生かされていたと考える。Tの主人公に共感させるための発問に対しても、自分の生活経験を基に話したC7～9のように、主人公の自分勝手な考え方に共感する反応がみられた。

【資料8】のTの発問では、主人公の気持ちに共感させながら、Tの発問をすることでねらいとする価値に気付かせようとした。その結果、価値にせまるC15・16のような「物を大切にする」「我慢する」といった発言がみられた。これは、C12・13の「こんなに散らかしていたら」「自分も物を大切にしよう」という発言を受けて、ねらいとする道徳的価値を受容したものである。

【資料9】は、「受容する」にかかわる学習シートの記述である。S1は、ハートフルカードから友達がどんな物でも大切に使っているという出来事の紹介を受けて、「すぐに物を捨てることはもったいない」ということに気付き、「物を大切にしよう」ということを受容しようとしたものである。S2は、ねらいとする価値を当たり前のことととらえながらも、今までの自分を反省しつつねらいとする価値を再確認し、取り入れようとしているものだと考える。他の児童についても、同じような記述がみられた。

以上のことから、児童は共感と受容をかかわらせながら、ねらいとする道徳的価値を自分のこととして受け止めることができたこととらえる。

【資料7】授業記録から

T : 新しいジャケットをみどりが社会科見学に着ていくことを知って、まゆみはどう思ったでしょう。  
C3 : まゆみと同じようにうらやましいと思うけど、友達と同じ服は着たくない。  
C4 : うらやましい。欲しい。  
C : ああ、欲しいなあって思う。  
C5 : 服じゃなくても、友達が持っているとな欲しくなるかも。  
T : たまたま服だったけど、他の物ならどう。  
C6 : ゲームだったら欲しいかも。バットとかボールだったら欲しい。  
C : ああ、あれも。

T : まゆみは、自分の部屋にかけ上がりながら、どんなことを考えたでしょう。  
C7 : 許してくれなかったからすごく頭にきて、「なんだこの」とたまに私もお母さんに言う。  
C8 : なんで友達は買ってもらっているのに、私だけって思う。  
C9 : お母さんは、私がお母さんのおむといつもああなんだから。

【資料8】授業記録から

T : しいんとした部屋でまゆみは、どんなことを思ったでしょう。  
C12 : こんなに散らかしていたら、買ってもらえなくて当たり前だな。  
C13 : これからは、自分も物を大切にしよう。  
C14 : お母さんにもわたるにもあやまらなきゃ。  
T : まゆみに足りなかった気持ちはなんだろう。  
C15 : 物を大切にする気持ち。  
C16 : 我慢する気持ち。  
T : 略(ハートフルカードからの紹介)

【資料9】学習シートから

S1 今日勉強して、古い物などはすぐに捨ててしまっていてもったいないと気付いたので、もっと物を大切にしようと思いました。  
S2 ファミリーカードにあったとおり、物をすぐに壊していました。買ってもらった物、もらった物でも、大切にあつかうことが当たり前のことなんだと思いました。

「高める」についての状況

【資料10】は、「高める」にかかわる学習シートの記述である。どちらも共感・受容した後に、ハートフルカードの物を大切に使うてくれて嬉しいという思いを紹介したことで高められた内容になっている。S3は、「親が働いたお金もむだにしたいくないので」という記述から、親の願いや思いがこの児童の意欲の高まりにつながったことが分かる。S4は、事前に家庭で話し合ったことを想起して振り返ったものである。自分の弱さであった「がまんする」というところを見つめ直し、「がまんできなかったものもがまんしていきたい」というところから意欲の高まりが感じられる。他の児童についても、同じような記述がみられた。

【資料10】学習シートから

S3 今まで自分は、物を大切に使用なかつたので、これからは大切に使用していきたいし、親が働いたお金もむだにしたいくないので、再利用したり、長く物を使ったりしていきたいです。  
 S4 今までは洋服は大切に使用していたけど、カードをむだに買ひすぎている。勉強では、物を大切にすること、がまんすることを学んだ。これからは、がまんしていたものはそのままがまんして、がまんできなかったものはがまんするようにしていきたい。

意識の変容状況

【表6】は、意識の変容状況をみるための事前事後調査の結果をまとめたものである。どちらの設問においても、サイン検定で有意差が認められた。

設問1では、マイナス変容に転じた児童はなく、プラス変容に転じた児童が18名いる。これはファミリーカードを基に主人公に十分共感し、道徳的価値のよさを自分のこととして受け止めることができたためだと考える。

設問2では、マイナス反応を示した児童は1名だけだったことから、以前から物を大切に使用おうとする意識が高まったことが分かる。このことは、変化がみられなかった児童14名のうち11名が事前からプラス反応であったことからもうかがえる。

【表6】道徳的心情の高まりの意識の変容状況 1-(1)

		N=29 (単位:人)							検定値
設問内容	前後	ア	イ	ウ	エ	オ	計		
	1 物を買うとき、がまんしなければならぬときはがまんして、必要な物だけを買うと思ひますか。	ア	3	0	0	0	0	3	4.04 *
イ		5	4	0	0	0	9		
ウ		2	5	3	0	0	10		
エ		1	2	3	1	0	7		
オ		0	0	0	0	0	0		
計	11	11	6	1	0	29			
2 自分が持っている物を、むだにしないて大切に使用おうと思ひますか。	ア	7	1	0	0	0	8	3.07 *	
	イ	5	4	0	0	0	9		
	ウ	2	6	3	0	0	11		
	エ	0	0	0	0	0	0		
	オ	0	1	0	0	0	1		
計	14	12	3	0	0	29			

「注」1 事前調査は8月30日に、授業は9月8日に、事後調査は9月9日に実施した。  
 「注」2 以降は、【表5】と同様。

以上、家庭の協力を生かした指導の工夫により、思慮・反省、節度・節制〔価値項目1-(1)〕についての道徳的心情が高められたと考える。

ウ 思いやり、親切について〔価値項目2-(2)くずれ落ちたダンボール箱(東京書籍)〕

(ア) 道徳的心情の高まりの状況

「共感する」「受容する」についての状況

次頁の【資料11】は、資料の内容を把握する場面における「共感する」にかかわる授業記録の抜粋である。Tの主人公に共感させる発問をしたところ、C4~7のような男の子を心配した反応と、おばあさんを心配した反応がみられた。これは、ファミリーカードで自分が親切にしたときの気持ちを思い起こさせたことで、相手のことを意識することができるようになったためだと考える。Tの店員に叱られたときの主人公の気持ちを聞いた発問には、素直に自

分の納得のいかない気持ちを語っているC 8～11の反応がみられたことより、主人公に十分共感できたと思われる。

【資料12】は、友達の考えのよさが分かる場面における「受容する」にかかわる学習シートの記述である。どちらも、共感する際に気付いたと思われる、相手を意識したことのよさについて触れた記述である。S 1は、C 4～7の相手を意識した発言を受けて、意識をする相手が違ったことで、そういう考え方もあるのだと素直に受け入れようとしたものである。S 2は、ハートフルカードで親切にされた側の気持ちに触れたことで、『相手の立場に立って考える』というねらいとする道徳的価値のよさに気付き、受容しようとしているものである。他の児童についても、同じような記述がみられた。

以上のことから児童は、共感と受容をかかわらせながら、ねらいとする道徳的価値を、自分のこととして受け止めることができたにとらえる。

「高める」についての状況

【資料13】は、自分を見つめ直す場面における「高める」にかかわる学習シートの記述である。どちらも、共感・受容した後にハートフルカードで、相手の立場や気持ちを理解して人に優しくして欲しいという願いや思いを紹介したことで高められた内容になっている。S 3は、素直に自分の悪い面を改めようとしているものである。「良いことをした後はよい気持ちになるということがわかった」という記述より、ねらいとする価値を受容したことによって気付くことができたことがうかがえる。S 4の「ほめられるからではなく、自分から進んでやりたい」という記述からは、親切という行為は見返りを求めるものではないことまで気付いたことが分かる。これは、主人公の気持ちを自分のこととして考えながらも、ハートフルカードなどにより常に相手の気持ちを意識させたから高められたものと考えられる。他の児童についても、同じような記述がみられた。

道徳的心情の高まりの意識の変容状況

次頁の【表7】は、意識の変容状況をみるための事前事後調査の結果をまとめたものである。どちらの設問においても、サイン検定で有意差が認められた。

設問1では、プラス変容に転じた児童は14名で、そのうち9名が強いプラス反応に転じている。これはファミリーカードを基に自分の気持ちを思い起こさせたことで、相手の身になって考える大切さを実感できたためだと考える。変容がみられなかった児童が14名いるが、9名は事前からプラ

#### 【資料11】授業記録から

- T : 「わたし」は、どうしてだんボール箱の片付けを手伝うことにしたのでしょうか。
- C 3 : 男の子が先に行ってしまうと、迷子になると困るから。
- C : そのままにはしてられないような気がした。
- C 4 : おばあさんが、男の子を心配しているのが分かったから。
- C 5 : おばあさんが年をとって、大変そうだと思ったから。
- C 6 : 男の子を連れて歩くだけでも大変なのに、だんボールを片付けてから探すのは大変だから。
- 
- T : 店員にしかられたとき、「わたし」はどんな気持ちだったでしょう。
- C 7 : 気持ちがむしゃくしゃした。
- C 8 : 人のためにやったのに、何でおこられるの。
- C : わけも聞かないのに、なぜおこるんだろう。
- C 9 : こんなことなら、片付けてやらなきゃよかった。
- C 10 : 良いことをしたのにむかつきた。

#### 【資料12】学習シートから

- S 1 私ならおばあさんのことを心配するけど、男の子を心配する人がいてすごいと思いました。
- S 2 今まで僕は、人を助けたりすることがなかったので、相手の立場になってやるのが大切だと思った。

#### 【資料13】学習シートから

- S 3 今まで面倒くさいのであまり人の手伝いをしようとは思わなかったけど、良いことをした後はよい気持ちになると分かったので、これからは自分から進んで手伝いをやりたいです。
- S 4 良かったことをすると、その分良いことが返ってくるんじゃないかなあと思い、これからは親切にしたいと思います。それは、ほめられるからではなく、自分から進んでやりたいです。



ス反応を示していることより道徳的価値に対して以前から高い意識を持っていたと考える。

設問2では、プラス変容に転じた児童が17名みられた。これは、ハートフルカードを基に家庭からの思いや願いを授業の中で伝えたことで、道徳的価値を自分のこととして受け止めることができた結果、意識が高まったと思われる。

以上、家庭の協力を生かした指導の工夫により、思いやり、親切〔価値項目2-(2)〕についての道徳的心情が高められたと考える。

(3) 手だてに関する意識の状況

6頁【表4】の調査計画に基づいて家庭の協力を生かした指導の工夫に関する意識について価値項目ごとに調査した。【図4】【図5】と次頁の【図6】は、その結果をまとめたものである。

結果をみると、ファミリーカードやハートフルカードを基に、自分の生活を振り返る活動をしたことで、主人公と自分を重ね合わせて考えることに役立ったことが分かる。また、ハートフルカードを基に保護者の気持ちを紹介したことで、礼儀〔2-(1)〕や思いやり、親切〔2-(2)〕の価

【表7】道徳的心情の高まりの意識の変容状況 2-(2)

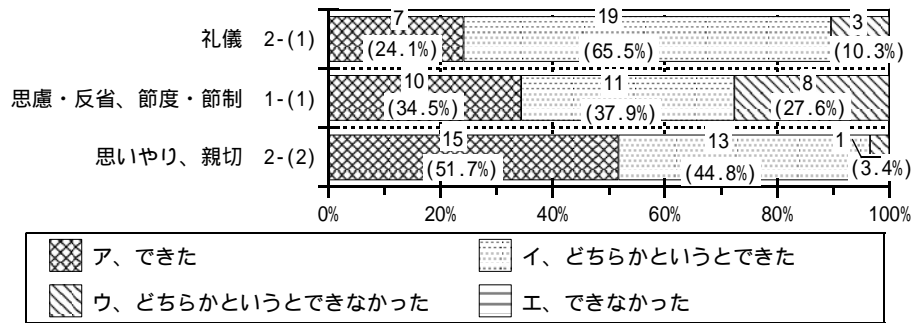
N = 29 (単位: 人)

設問内容	前	後					計	検定値
		ア	イ	ウ	エ	オ		
1 あなたは、困っている人を見たら、相手の身になって考えようと思いますか。	ア	8	1	0	0	0	9	3.07 *
	イ	6	3	0	0	0	9	
	ウ	2	2	3	0	0	7	
	エ	0	2	0	0	0	2	
	オ	1	1	0	0	0	2	
	計	17	9	3	0	0	29	
2 あなたは、困っている人を見たら、知らない人でも自分ができることをしようと思いますか。	ア	4	1	1	0	0	6	3.18 *
	イ	5	4	0	0	0	9	
	ウ	3	4	1	0	0	8	
	エ	0	2	2	1	0	5	
	オ	0	0	1	0	0	1	
	計	12	11	5	1	0	29	

「注」1 事前調査は9月7日に、授業は9月13日に、事後調査は9月14日に実施した。  
「注」2以降は、【表5】と同様。

事前の話し合い(主人公に共感する)

おうちの人から聞いた自分のことや気持ちを基に、主人公の気持ちを考えることができましたか。( N = 29 )

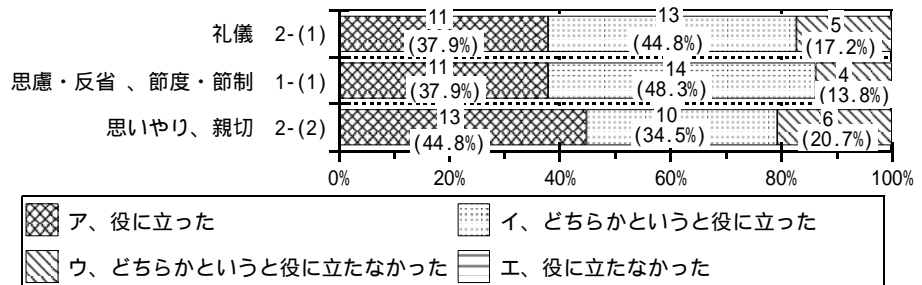


「注」1 Nは、人数を表す。  
2 %の数値は、四捨五入により合計して100にならない場合がある。

【図4】家庭の協力を生かした指導の工夫に関する意識調査についての状況1

子どもへの願いや思い(主人公に共感する)

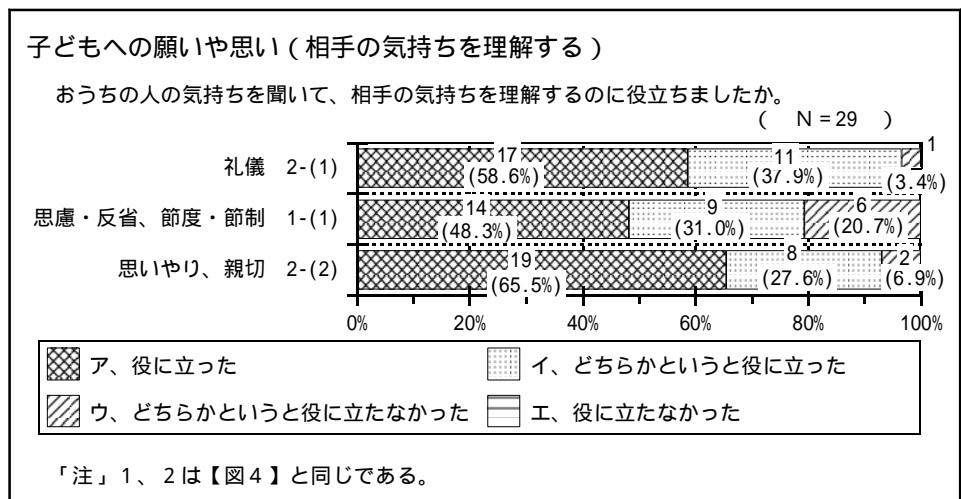
先生が紹介したことを聞いて、主人公と同じようなことが自分にもあったなあと考えるのに役立ちましたか。( N = 29 )



「注」1、2は【図4】と同じである。

【図5】家庭の協力を生かした指導の工夫に関する意識調査についての状況2

値項目において、多くの児童が相手の気持ちを理解することに役立つことが分かる。したがって、家庭の協力を生かした指導は、児童に好意的に受け止められたと考える。



【図6】家庭の協力を生かした指導の工夫に関する意識調査についての状況 3

#### 4 道徳的心情をはぐくむ道徳の時間の指導に関する研究のまとめ

授業実践 1、 2、 3 及び実践結果の分析と考察をとおして、明らかになった成果と課題を示す。

##### (1) 成果

- ア 事前にねらいとする道徳的価値にかかわる家庭での話し合いを設けたことで、単位時間において価値の焦点化を図ることができた。
- イ 家庭で話し合った出来事や気持ちを発表させたことで、主人公と自分がかかわらせながら考えさせることができた。
- ウ 家庭から書いてもらったねらいとする価値にかかわる出来事を紹介したことで、日常生活場面と結び付けながら主人公に共感させることができた。
- エ 家庭から書いてもらった子どもの出来事にかかわる思いを伝えたことで、相手の気持ちに気付かせ、相手意識をもたせることができた。
- オ 主人公に十分共感させた後に、家庭からの願いや思いを伝えたことで心が揺さぶられ、よりよく生きようとする思いを高めることができた。

##### (2) 課題

- ア 導入でねらいとする道徳的価値に気付かせ、展開でも主人公に共感させることに生かせるような、カードの設問内容を吟味すること。
- イ 他者の考え方のよさを受容しやすくするために、新たな手だてを考えること。
- ウ 実践でできなかった残りの二つの価値についても家庭の協力によって道徳的心情をはぐくまれるかどうか検証していくこと。

以上のことから、課題はあるものの、小学校道徳教育において家庭の協力を生かした指導の工夫は、資料と日常を関連付け、道徳的価値の大切さを自分との結び付きでとらえることができ、道徳的心情をはぐくむ上で効果があると考えられる。

#### 研究のまとめと今後の課題

##### 1 研究のまとめ

本研究は、道徳の時間において、家庭の協力を生かした指導の工夫をとおして、道徳的心情をはぐくむ道徳の時間の指導方法を明らかにし、小学校の道徳の時間の指導の充実に役立てようとするものであった。研究の結果、仮説が妥当であることを確かめることができた。

なお、成果は、次のとおりである。

- (1) 道徳的心情をはぐくむ道徳の時間の指導に関する基本構想  
家庭の協力を生かした指導の工夫として、「家庭における事前の話合い」と「子どもへの願いや思い」を指導過程に取り入れた道徳の時間の基本的な考え方や意義を明らかにし、道徳的心情をはぐくむ道徳の時間の指導に関する基本構想を立案することができた。
- (2) 家庭の協力を生かした指導の工夫についての手だての試案  
基本構想に基づき、家庭の協力を生かした指導の工夫について、カードを位置付けた手だての試案を作成することができた。
- (3) 授業実践及び実践結果の分析と考察  
家庭の協力を生かした指導の工夫についての手だての試案に基づき授業実践を行い、授業実践結果の分析と考察をすることにより、カードを位置付けた手だての試案の有効性について明らかにすることができた。
- (4) 道徳的心情をはぐくむ道徳の時間の指導に関する研究のまとめ  
授業実践結果の分析と考察を基に、道徳的心情をはぐくむ道徳の時間の指導について、成果と課題を明らかにすることができた。

## 2 今後の課題

本研究では、道徳的心情をはぐくむ道徳の時間の指導に関して、授業実践をとおして家庭の協力を生かした指導の工夫について実践的に明らかにすることができた。

今後は、ねらいとする道徳的価値に応じた、「ファミリーカード」「ハートフルカード」の設問内容の修正・改善と、授業での取り入れ方に工夫を図っていきたい。

おわりに

長期研修の機会を与えてくださいました関係諸機関の各位並びに所属校の諸先生方と児童及び保護者のみなさんに心から感謝を申し上げ、結びのことばといたします。

### 【参考文献】

- 岩手県道徳教育研究会（2000），『Q & A 道徳教育』，岩手県道徳教育研究会
- 岡山県学校道徳研究会（1999），『「生きる力」をはぐくむ道徳教育』，教育開発研究所
- 押谷由夫（1995），『ダイナミックな道徳学習の創造と展開』，文溪堂
- 楠茂宣（2002），『家庭・地域社会と共にすすめる 新しい「道徳」授業～17のポイントと読み物資料・展開例～』，小学館
- 瀬戸真（1991），『新しい授業の創り方講座第6巻 道徳性の育成を目指す授業実践の改革』，第一法規

補充資料

目 次

【補充資料 1】	指導展開案	資 1
【補充資料 2】	ファミリーカード、ハートフルカード	資 7
	1 - ( 1 )  思慮・反省、節度・節制	資 7
	2 - ( 1 )  礼儀	資 8
	2 - ( 2 )  思いやり、親切	資 9
【補充資料 3】	道徳的心情の高まりの変容状況をみる事前事後調査紙	資 10
【補充資料 4】	手だてに関する意識の状況をみる事後調査紙	資 13
【補充資料 5】	保護者への依頼文書	資 14
【補充資料 6】	道徳だより	資 16

【補充資料1】指導展開案

1 指導展開案

- (1) 主題名 ものを大切に作る心 「1 - (1) 思慮・反省、節度・節制」
- (2) 資料名 流行おくれ (出典 希望を持って5年 東京書籍)
- (3) ねらい 自分の言動を振り返り、節度ある生活をしようとする心情を育てる。
- (4) 展開案 (手だてにかかわる部分はゴシック体で表す)

事前カード	<p>「思慮・反省、節度・節制」という価値にかかわる自分の出来事を家の人から聞いたり、その時の自分の気持ちを思い出したりしてカードに記入する。</p>	<p>子どもから受けた「思慮・反省、節度・節制」という価値にかかわる出来事と、その時の気持ちを書いてもらう。</p>
	<p style="text-align: center;"><b>ファミリーカード</b></p> <p>設問1 もう少し物をむだにしないで大切にしたいと感じた出来事を、おうちの人から聞いて書きましょう。</p> <p>設問2 「設問1」の時、どうして出来なかったのか、その時どんな気持ちだったのか、思い出して書きましょう。</p>	<p style="text-align: center;"><b>ハートフルカード</b></p> <p>設問1 子どもが、物を無駄にしないで工夫しながら大切に使用して良いと感じた出来事があったら書いてください。</p> <p>設問2 「設問1」の時、どんな気持ちや思いをもったか書いてください。</p>

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導入 (5)	<p>1 ねらいとする価値に興味・関心をもつ。</p> <p>おうちの人から聞いた、もう少し物を無駄にしないで大切にしたいと感じた出来事について発表しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいゲームがでるとすぐに欲しがり、買って何回かやると飽きて放りっぱなしにしてしまう。</li> <li>・自分も同じような物(文房具等)を持っていても、友達と同じ物を欲しがる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミリーカードから、「流行に影響される」「欲しくて買った物なのに、すぐにあきて大事にしない」という観点で書かれている児童に意図的指名をし、価値への方向付けを行う。</li> </ul>
展開	<p>2 資料「流行おくれ」を読んで、話し合う。</p> <p>みどりさんが新しいジャケットを着て社会科見学に行くことを知ったまゆみは、どう思ったでしょう。</p> <p>まゆみは、自分の部屋にかけ上がりながら、どんなことを考えたでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みどりさんはいいなあ。うらやましいなあ。</li> <li>・わたしも新しいのが欲しいなあ。</li> <li>・たのんで買ってもらおう。</li> <li>・お母さんのけち、買って来てもいいじゃない。</li> <li>・こんなにたのんでいるのにひどい。</li> <li>・買ってもらえなくて悲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミリーカードに記入した出来事や気持ちを意識させながら、主人公の気持ちを考えさせる。</li> <li>・まゆみの性格も、考えさせる。</li> <li>・ハートフルカードから主人公と似た出来事を紹介し、自分たちにもありがちな事であることを確認する。</li> </ul>

<p style="text-align: center;">展 開</p> <p style="text-align: center;">(37)</p>	<p>わたるの話を聞いたまゆみは、 どんなことを考えたでしょう。</p> <p>しいんとした部屋で、まゆみは どんなことを思ったでしょう。</p> <p>3 自分の生活を見つめ直す。 今までの生活を振り返って、今 日の学習を基に感じたことを書 きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・だまって人の部屋で物を探すのはゆるせない。</li> <li>・借りないで、買ってもらえばよかったのに。</li> <li>・悪いことをしたな、本のことはすっかり忘れていた。</li> <li>・あの本には、そんな理由があったのか。</li> <li>・お母さんやわたるに悪いことをしたな。</li> <li>・今までわたしは、物を大切にしていなかったな。</li> <li>・これからは、もっと物を大切にしていこう。</li> <li>・自分は今まで、新しい物ができるとすぐに欲しがっていたけど、さん のようにある物を工夫しながら大切に 使おうと思った。</li> <li>・自分が欲しかったバックを誕生日に 買ってもらったので、いつまでも大 切に使っていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助発問で、母親がどうして許さなかったのかも考えさせる。</li> <li>・弟に八つ当たりをする心情を理解させるとともに、弟が本を探していた理由を聞いたときのまゆみの心情を深く考えさせる。</li> <li>・友達の考えを聞いて、良いなあとと思う考えを、学習シートに書かせる。</li> <li>・ハートフルカードに書いてもらった子どもから行為を受けたときの気持ちを紹介し、相手の気持ちを意識させる。</li> <li>・友達の考え方のよさや、相手の気持ちを意識させた上で自分を見つめ直し、学習シートに記入させる。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">終 末</p> <p style="text-align: center;">(3)</p>	<p>4 教師の説話を聞く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだことが日常に生かされていくように、意識付けを図る。</li> </ul>

【補充資料1】指導展開案

1 指導展開案

- (1) 主題名 気持ちのよいあいさつ 「2 - (1) 礼儀」
- (2) 資料名 よいあいさつが、よい出会いをつくる (出典 みんなのどうとく5年 学研)
- (3) ねらい 場に応じた言葉を使い、気持ちのよい挨拶ができるような心情を育てる。
- (4) 展開案 (手だてにかかわる部分はゴシック体で表す)

事前カード	<p>「礼儀」という価値にかかわる自分の出来事を家の人から聞いたり、その時の自分の気持ちを思い出したりしてカードに記入する。</p>	<p>子どもから受けた「礼儀」という価値にかかわる出来事と、その時の気持ちを書いてもらう。</p>
	<p style="text-align: center;"><b>ファミリーカード</b></p> <p>設問1 自分の友達や大人の人に対するあいさつや言葉づかいや態度など、気を付けて欲しいと感じた出来事を、おうちの人から聞いて書きましよう。</p> <p>設問2 「設問1」の時、どうして出来なかったのか、その時どんな気持ちだったのか、思い出して書きましよう。</p>	<p style="text-align: center;"><b>ハートフルカード</b></p> <p>設問1 子どもの挨拶や態度、言葉づかいなど礼儀にかかわることで、自分がされてうれしかったと感じた出来事があったら書いてください。</p> <p>設問2 「設問1」の時、どんな気持ちや思いをもったか書いてください。</p>

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導入 (5)	<p>1 ねらいとする価値に興味・関心をもつ。</p> <p>おうちの人から聞いた、挨拶や言葉づかいをもう少し気を付けて欲しかったと思えた出来事について発表ましよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの子供会の行事の時、自分から進んであいさつをして欲しかった。</li> <li>・いくら友達でも、らんぼうな言葉づかいや、相手が気にするようなことは言わないようにして欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミリーカードから、挨拶、言葉づかい、態度という観点から書かれている児童に意図的指名をし価値への方向付けを行う。</li> </ul>
展開	<p>2 資料「よいあいさつが、よい出会いをつくる」を読んで、話し合う。</p> <p>挨拶をしようとしていても挨拶ができなかったとき、どんな気持ちでしたか。</p> <p>「あいさつは、こわばった空気を和らげてくれる」というのは、どんなことなのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着かない、変な気持ち。</li> <li>・なんとなく、悪いことをしたような気持ち。</li> <li>・しばらく、気になってしょうがない。</li> <li>・心のこもったあいさつは、人の気持ちを優しくしてくれるのではないか。</li> <li>・心のこもったあいさつは、相手の心にしっかりと伝わっていくのではないか。</li> <li>・けんかをしていても、なんとなく許してあげたくなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミリーカードに記入した出来事や気持ちを意識させながら、主人公の気持ちを考えさせる。</li> <li>・ハートフルカードに書いてもらった児童の出来事を紹介し、自分の生活と照らし合わせながら考えさせる。</li> <li>・心のこもった挨拶とは、どんな挨拶なのか、考えさせる。</li> </ul>

(37)	<p>「あいさつって、心を開くひみつのかぎみたい。」というのは、どうということなのだろうか。</p> <p>3 自分の生活を見つめ直す。 今までの生活を振り返って、今日の学習を基に感じたことを書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明るいあいさつをすると、おたがいの心を通い合わせることができる。</li> <li>・ 気持ちのよいあいさつをすると、相手とのきよりをちぢめることができる。</li> <li>・ あいさつをすると、お互いに気持ちよく生活が出来るので、進んでやっていきたい。</li> <li>・ あいさつや話をするときは、相手の顔を見てするようにしたい。</li> <li>・ 相手の気持ちや場を考えて、話し方に注意していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達の考えを聞いて、良いなあと思う考えを、学習シートに書かせる。</li> <li>・ ハートフルカードに書いてもらった、子どもから行為を受けた時の気持ちを紹介し、相手の気持ちを意識させる。</li> <li>・ 友達の考え方のよさや、相手の気持ちを意識させた上で自分を見つめ直し、学習シートに記入させる。</li> </ul>
終末 (3)	<p>4 教師の説話を聞く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学んだことが日常に活かされていくように、意識付けを図る。</li> </ul>



【補充資料1】指導展開案

1 指導展開案

- (1) 主題名 困った人の身になって 「2 - (2) 思いやり、親切」
- (2) 資料名 くずれ落ちたダンボール箱 (出典 希望を持って5年 東京書籍)
- (3) ねらい 困っている人を見たらその人の身になって考え、親切にしようとする心情を育てる。
- (4) 展開案 (手だてにかかわる部分はゴシック体で表す)

事前カード	<p>「思いやり、親切」という価値にかかわる自分の出来事を家の人から聞いたり、その時の自分の気持ちを思い出したりしてカードに記入する。</p>	<p>子どもから受けた「思いやり、親切」という価値にかかわる出来事と、その時の気持ちを書いてもらう。</p>
	<p style="text-align: center;"><b>ファミリーカード</b></p> <p>設問1 自分の、やさしさが感じられた出来事をおうちの人から聞いて書きましょう。</p> <p>設問2 「設問1」の時、どうしてやさしくしてあげたのか、その時の気持ちを思い出して書きましょう。</p>	<p style="text-align: center;"><b>ハートフルカード</b></p> <p>設問1 自分が、お子さんに優しくされて、うれしかったと感じた出来事があったら書いてください。</p> <p>設問2 「設問1」の時、どんな気持ちや思いをもったか書いてください。</p>

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導入 (5)	<p>1 ねらいとする価値に興味・関心をもつ。</p> <p>おうちの人から聞いた、自分の優しいと思えた出来事について発表しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帰りが遅くなったとき、夕ご飯の準備や後片づけを手伝ってくれた。</li> <li>・子供会の活動で、低学年のめんどうをよく見ていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミリーカードから、「相手のことを考えている」という観点で書かれている児童に意図的指名をし、価値への方向付けを行う。</li> </ul>
展開	<p>2 資料「くずれ落ちた段ボール箱」を読んで、話し合う。</p> <p>「わたし」は、どうしてダンボール箱の片付けを手伝うことにしたのでしょうか。</p> <p>店員にしかられたとき、「わたし」は、どんな気持ちだったでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おばあさんが困っていたから。</li> <li>・だれも手伝おうとしなかったから。</li> <li>・そのままにしておけなかったから。</li> <li>・みんなも困ると思ったから。</li> <li>・どうしておこられるの。</li> <li>・悪いことはしてないのに、くやしい。</li> <li>・手伝わなければ良かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミリーカードに記入した出来事や気持ちを意識させながら、主人公の気持ちを考えさせる。</li> <li>・おばあさんを見て、手伝わずにはいられなかった気持ちを取り上げる。</li> <li>・深入りせずに、素直な気持ちを発言させる。</li> </ul>

展	<p>おばあさんにお礼を言われたとき、「わたし」は、どんな気持ちだったでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手伝って、良かったな。</li> <li>・おこられたのは頭にくるけど、おばあさんのためになったのだからいいことにしよう。</li> <li>・おばあさんにお礼を言われてうれしいけど、なんだかすっきりしないな。</li> <li>・なんか、複雑な気持ちだな。</li> <li>・手伝わなければよかったな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なんとなく救われた気持ちと、まだすっきりしない複雑な気持ちを、素直に発表させる。</li> <li>・友達の考えを聞いて、良いなあと思う考えを、学習シートに書かせる。</li> </ul>
開	<p>わたしの足取りが、リズムに乗って、いつもより軽やかだったのは、どうしてでしょう。</p> <p>3 自分の生活を見つめ直す。 今までの生活を振り返って、今日の学習を基に感じたことを書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親切にしてやっぱり良かったと思ったから。</li> <li>・もやもやしていた気持ちがすっきりしたから。</li> <li>・店員さんに分かってもらえたから。</li> <li>・自分たちがしたことが、みとめられたから。</li> </ul> <p>37)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までは、知っている人が困っていたら親切にしてあげたけど、これからは、知らない人でも困っていたら親切にしてあげたい。</li> <li>・お礼を言ってもらうために人に親切にするのではなく、相手の立場や気持ちを考えて行動していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わたし」の気持ちを考えさせ、だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすることの心地よさを、つかませたい。</li> <li>・ハートフルカードに書いてもらった児童の出来事と、その行為を受けたときの気持ちを紹介し、相手の気持ちを意識させる。</li> <li>・友達の考え方のよさや、相手の気持ちを意識させた上で自分を見つめ直し、学習シートに記入させる。</li> </ul>
終末	<p>4 教師の説話を聞く。</p> <p>3)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだことが日常に生かされていくように、意識付けを図る。</li> </ul>

1-(1)



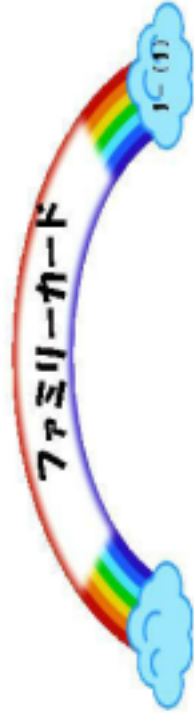
年組 児童名

1. 子どもが、物を無駄にしないで工夫しながら大切に使用して良いなど感じた出来事があったら書いてください。

Handwriting practice lines for the first question, including a small illustration of stationery items like a pen, pencil, and paper.

2. 1に書いた出来事のと看、どんな気持ちや思いをもったか書いてください。

Handwriting practice lines for the second question, including a small illustration of a girl in a red dress.



年組 番 名前

《おうちの人から聞いて書きましよう》

1. もう少し物をむだにしないで大切にしたいと感しいと感じた出来事をおうちの人から聞いて書きましよう。

Handwriting practice lines for the first question, including a small illustration of a family sitting at a table.

《自分で思い出しながら書きましよう》

2. 1で聞いた出来事のと看、どうしてできなかつたのか、そのときどんな気持ちだったのか、思い出して書きましよう。

Handwriting practice lines for the second question, including a small illustration of a boy thinking.

2-(1)



年組 児童名

1 子どもの挨拶や態度、言葉づかいなど礼儀にかかわることで、自分がされてうれしかったと感じた出来事があったら書いてください。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_



2 1に書いた出来事のと、どんな気持ちや思いをもったか書いてください。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_



年組 番号前

〈おうちの人から聞いて書きましょう〉

1 自分の、友達や大人の人に対するあいさつや言葉づかいや態度など、気を付けて欲しいと感じた出来事を、おうちの人から聞いて書きましょう。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_



〈自分で思い出しながら書きましょう〉

2 1で聞いた出来事のと、どうしてできなかったのか、そのときどんな気持ちだったのか、思い出して書きましょう。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_



2-(2)



年組 児童名

1. 自分が、お子さんに優しくされて、うれしかったと感じた出来事があつたら書いてください。

Blank writing lines for the first question.



2. 1に書いた出来事の時、どんな気持ちや思いをもったか書いてください。

Blank writing lines for the second question.



年組 番号前

〈おうちの人から聞いて書いて書きましょう〉

1. 自分の、やさしさが感じられた出来事を、おうちの人から聞いて書きましょう。

Blank writing lines for the first question.



自分で思い出しながら書きましょう)

2. 1で聞いた出来事の時、どうしてやさしくしてあげたのか、そのときの気持ちを思い出して書きましょう。

Blank writing lines for the second question.



## アンケートのお願い



このアンケートは、みなさんがふだん、どんなことを思っているのかを知るためのアンケートです。よく読んで、ア～オのうち、自分の考えに一番近いものをえらんで、をつけてください。

5年組

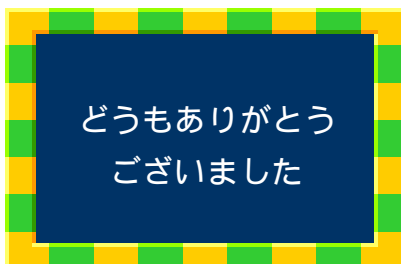
名前

1 あなたは、物を買うとき、がまんしなければならないときはがまんして、必要な物だけを買おうと思いますか。

- ア( ) とても思う
- イ( ) どちらかといえば思う
- ウ( ) どちらともいえない
- エ( ) どちらかといえば思わない
- オ( ) まったく思わない

2 あなたは、自分が持っている物を、むだにしないで大切に使うと思いますか。

- ア( ) とても思う
- イ( ) どちらかといえば思う
- ウ( ) どちらともいえない
- エ( ) どちらかといえば思わない
- オ( ) まったく思わない



## アンケートのお願い



このアンケートは、みなさんがどんなことに気を付けながら生活をしているのかを知るためのアンケートです。よく読んで、ア～オのうち、自分の考えに一番近いものを選んで、をつけてください。

5年組

番 名前

1 あなたは、自分から進んで、気持ちのよいあいさつをしようと思いますか。

- ア( ) とても思う
- イ( ) どちらかといえば思う
- ウ( ) どちらともいえない
- エ( ) どちらかといえば思わない
- オ( ) まったく思わない



2 あなたは、友達や年上の人と話すとき、相手を見ながら話したり、場に応じていねいな言葉で話したりなど、言葉づかいや態度に気を付けようと思いますか。

- ア( ) とても思う
- イ( ) どちらかといえば思う
- ウ( ) どちらともいえない
- エ( ) どちらかといえば思わない
- オ( ) まったく思わない



どうもありがとう  
ございました

## アンケートのお願い



このアンケートは、みなさんがふだん、どんなことを思っているのかを知るためのアンケートです。よく読んで、ア～オのうち、自分の考えに一番近いものをえらんで、をつけてください。

5年組

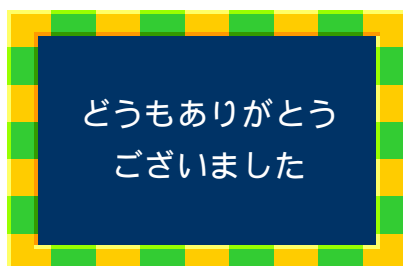
番名前

1 あなたは、困っている人を見たら、相手の身になって考えようと思いますか。

- ア( ) とても思う
- イ( ) どちらかといえば思う
- ウ( ) どちらともいえない
- エ( ) どちらかというと思わない
- オ( ) まったく思わない

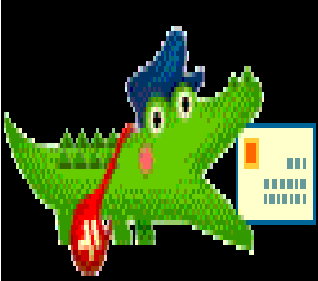
2 あなたは、困っている人を見たら、知らない人でも自分ができるところをしようと思いますか。

- ア( ) とても思う
- イ( ) どちらかといえば思う
- ウ( ) どちらともいえない
- エ( ) どちらかというと思わない
- オ( ) まったく思わない





## アンケートのお願い



このアンケートは、みなさんが先生といっしょに勉強した道徳の時間について、どんなことを思っているのかを知るためのアンケートです。よく読んでア～エのうち、自分の考えに一番近いものをえらんで、をつけてください。

5年組

番 名前

1 おうちの人から聞いた自分のことや気持ちを基に、（主人公）の気持ちを考えることができましたか。

- ア（ ） できた
- イ（ ） どちらかというとできた
- ウ（ ） どちらかというとできなかった
- エ（ ） できなかった

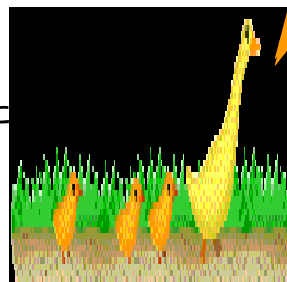
2 先生がしょうかいしたことを聞いて、（主人公）と同じようなことが自分にもあったなあと考えるのに役立ちましたか。

- ア（ ） 役に立った
- イ（ ） どちらかというと役に立った
- ウ（ ） どちらかというと役に立たなかった
- エ（ ） 役に立たなかった

3 おうちの人や先生の気持ちを聞いて、相手の気持ちを理解するのに役立ちましたか。

- ア（ ） 役に立った
- イ（ ） どちらかというと役に立った
- ウ（ ） どちらかというと役に立たなかった
- エ（ ） 役に立たなかった

どうも  
ありがとう  
ございました



平成17年 8月22日

保護者各位

大船渡北小学校

細谷 恵美

### 道徳の授業にかかわる協力をお願い

朝、夕とだいぶ過ごしやすくなってまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、4月から岩手県立総合教育センターにて研修をさせていただいておりますが、本日より9月16日まで5年2組で道徳の授業を3回させていただくことになりました。久しぶりに子ども達に会って授業ができることを、とても楽しみにしておりました。

教育センターでは、家庭と学校が少しでも同じ視点で子ども達の心を育てていきたいと願い、家庭の協力を生かした道徳教育についての研究をしております。そこで、このたびの北小学校での授業におきましても保護者の方の協力を得ながら進めてまいりたいと思いますので、お忙しいとは存じますがご協力のほどよろしくお願いいいたします。詳しくは、下記をご覧ください。

#### 記

##### 1 授業を行うにあたってお願いしたいこと

子ども達が、ファミリーカード（授業で使用）というカードを持っていき、自分に関する出来事について質問し、聞いたことをカードに書き込みます。その出来事について、どのような場面だったのかをお話してください。その後で、子どもがその時の自分の気持ちを思い出しながら、さらに書き込むこととなります。

ファミリーカードとは別に、ハートフルカードというものを子ども達には内緒で保護者の方にお渡しします。これは、子ども達に道徳的な価値観を意識させるために授業の中で保護者の方々の気持ちや思いを伝えるためのものです。

書いていただく内容は授業の内容によって多少の違いはありますが、保護者の方がお子さんから受けた出来事とその時の気持ちや思いを書いていただくものです。お手数ですが、ご記入後はお子さんの目に触れないよう、封をした上で持たせてくださいますようお願いいたします。

それぞれのカードは、同封しました別紙の記入例を参考の上、ご記入願います。

##### 2 道徳だより配布のお知らせ

授業が終わるごとに、授業の様子をお知らせしたいと思います。食事の際にでも話題にさせていただき、学校と家庭が一丸となって豊かな心づくりに取り組んでいけたらと考えております。ご活用いただけるとありがたいです。



記入例

年 組 児童名

- 1 子どもの挨拶や態度、言葉づかいなど礼儀にかかわることで、自分がされてうれしかったと感じた出来事があったら書いてください。

①約束したお手伝いをやっていたいなかったのので注意したら、素直に謝ってくれた。

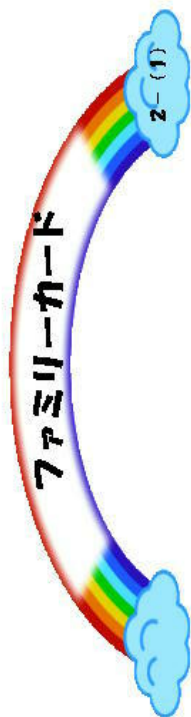
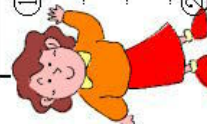
②毎日、元気に、「行ってきます」「ただいま」「お帰りなさい」などの挨拶をしてくれる。



- 2 1に書いた出来事の時、どんな気持ちや思いをもったか書いてください。

①時々、理由を付けて自分の悪いところを認めなかったりするのに、素直に謝ってくれたので嬉しかったし、とても気持ちが良かった。

②子どもが元気に挨拶してくれれば、自分も頑張ろうという気持ちになるので、誰にでも進んで挨拶をしてくれる子どもになって欲しい。



記入例

年 組 番号 名前

(おうちの人から聞いて書きましょう)

- 1 自分の、友達や大人の人に対するあいさつや言葉づかいや態度など、気を付けて欲しいと感じた出来事を、おうちの人が聞いて書きましょう。

・友達と元気に遊ぶのは良いのだが、時々、自分も言われたら嫌だと思うような乱暴な言葉を使うので、気を付けて欲しい。

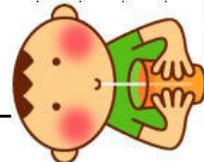
・夏休みに親戚が泊まりに来たときに、恥ずかしくておじさんやおばさんの顔を見ないで話していたので、気を付けて欲しい。

などの内容を、お話ください。



(自分で思い出しながら書きましょう)

- 2 1で聞いた出来事の時、どうしてできなかったのか、そのときどんな気持ちだったのか、思い出して書きましょう。



道徳だより 5年組

# 心の旅

NO.1



- 1、資料名「よいあいさつが、よい出会いをつくる」
- 2、ねらい

その場に応じた言葉を使い、気持ちのよい挨拶ができるような心情を育てる。

- 3、資料のあらすじ

登校時、進は、交通整理のおじさんに挨拶をしようとしたができなかった。進の学級では、帰りの会で挨拶について話し合い、大切さを確認した。その日の帰り道、かよこ達は進のお母さんに会い、自分達から挨拶をした。そしたらお婆さんの顔が明るくなり、みんなの心も明るくなった。その様子をかよこは、「あいさつって、心を開く秘密のかぎみたい」と表現した。

- 4、授業の流れ

ファミリーカードを基に、挨拶や言葉づかいで気を付けて欲しいと言われたことを発表し、挨拶について自分を振り返りました。

資料を読んで、登場人物の気持ちを考えながら、挨拶にはどんな力があるのかを考えていきました。

資料で考えてきたことと、ハートフルカードのおうちの人の気持ちや思いを伝えた上で、自分の生活を見つめ直しました。

あいさつには、  
どんな力があるの？



子ども達からは、次のような言葉が出てきました。

- 心が明るくなる
- 心が元気になる
- 心が優しくなる
- 心が温かくなる

あいさつって  
大切なんだ！

道徳の時間は、間違った答えのない時間です。だから、どんどん自分の考えを発表して欲しいと思います。

大人もそうですが、普段の生活の中で、自分を見つめる時間ってなかなかありません。時間の流れの中で、当たり前のこととして行動していることが多いものです。そこで、じっくり考える時間を大切にしていきたいと考えています。

今回は、先週行った道徳の授業について、様子をお知らせします。

## 《気を付けて欲しかった事って?》

(ファミリーカードより)

Fさん：家にお客さんなどが来たとき、すぐに自分から挨拶ができなかった。

Kさん：近所の人に、もう少し大きな声で挨拶をして欲しい。

Mさん：ちょっと間違ったことだと謝らないことがある。

Sさん：人に言われた事は、素直に聞き入れるようにしました。

時間があまりとれず4人の事例を紹介しましたが、同じような内容がたくさんありました。これらの内容に、頷いている子どもがたくさんいました。ご協力、ありがとうございました。

## 「あいさつって、心を開く秘密のかぎみたい」

これって、何を言いたかったのかな？

- ・かぎは、大切な所にかけるものだよ。
- ・暗い気持ちが明るくなれるから、心を開くという言葉を使ったんじゃないかな。などなど、一生懸命考えてくれました。

## 《みなさんが挨拶してくれたとき、おうちの人はどうな気持ちになったのかな？》

(ハートフルカードより)

Dさん：朝けんかしていやな気持ちでも、「行ってきます」と言われると気持ちも切り替えられます。

Tさん：元気に「行ってきます」と言われると、今日1日頑張って学校に行くんだな。「ただいま」と言われると、楽しく過ごしてきたんだなと思いうれしいです。自分も元気に会社で仕事を頑張ろうと思います。

Nさん：信号のない歩道で止まってくれた車にお辞儀をするのを見ていて気持ちよかったし、自分もつられてお辞儀をしてしまいました。

Nさん：仕事で遅く帰ってきたとき、「遅かったね、疲れたでしょう」と言ってくれた言葉がとても嬉しくて、疲れも忘れてしまうような感じでした。

Kさん：家では反射的に「ありがとう」と出てくるので、慣れていない人にでも言えるようになって欲しいです。

Mさん：単語で話したり答えたりするのを見るとあまりよい気分ではないが、きちんと受け答えができてると嬉しくなります。

Sさん：お弁当を持っていったとき「お弁当おいしかったよ、ありがとう」と言われると、次も頑張ろうという気持ちになります。感謝の気持ちを素直に言える子になって欲しいです。

他にもたくさん書いていただきました。ありがとうございました。子ども達はこのメッセージを聞いて、だれのことだろうと興味津々で聞いていました。心の片隅にでも、とどめておいて欲しいなあと思います。

### 授業を通して子ども達を感じたこと！！



ぼくは、いつもふつうにあいさつしていたけど、あいさつには、暗い気持ちを明るくしたり、心を元気にしたり、すごい能力があるんだと思った。

自分が元気にあいさつすれば、みんな元氣になれるんだと思った。これからも、親などにあいさつをしていきたい。

あいさつは毎日するけど、暗かったり、声が小さかったりしました。自分が明るくあいさつすれば相手も明るくあいさつしてくれると思います。だから、これからは、明るくあいさつしようと思いました。

今回の授業を通して、今まで当たり前のようにやっていた挨拶について、相手の気持ちを考えることで、更に深めることができたようです。おうちの人の言葉は、より心に響いたようです。ありがとうございました。

最後のハートフルカードになります。9日(金)までに持たせてください。ご協力、ありがとうございました。

わたしは、山道を通るのであまり人には会いませんが、今日の朝、車に乗っている人が窓を開けて「おはようございます」と言ってくれました。そのときは、わたしも「おはようございます」と返すことができました。気持ちよくあいさつができると、その日1日がいい1日になるような気がしたからです。『よいあいさつが、よい出会いをつくる』の話にもあったように、「あいさつって心を開くひみつのかぎみたい」とわたしも思いました。これからも自分からあいさつをしていきたいです。

道徳だより 5年 組

# 心の旅

NO. 2



今回は、昨日行った道徳の授業についての様子をお知らせします。

1回目の授業に比べると、話の内容もとても身近であり考えやすかったためか、たくさん考えを述べてくれました。また、「ある、ある、ある。」や「分かる、分かる。」の連発で、主人公まゆみに共感しっぱなしでした。その分、自分を反省しながら、これからの生活の仕方を前向きに考えることができたようです。

1、資料名「流行おくれ」

2、ねらい

自分の言動を振り返り、節度ある生活をしようとする心情を育てる。

3、資料のあらすじ

主人公のまゆみは、社会科見学に友達が着ていく流行のジャケットが欲しくてたまらなくなる。このことをめぐる母親や弟とのやりとりを通して、自分自身の生活を振り返り、節度ある生活をしていこうとする内容である。

4、授業の流れ

ファミリーカードを基に、物を無駄にしないで大切にしたいと言われたことを発表し、その時の気持ちについて自分を振り返りました。

資料を読んで、登場人物の気持ちを考えながら、まゆみのどんなところがいけなかったのか、足りなかった気持ちは何なのかを考えていきました。

資料で考えてきたことと、ハートフルカードのおうちの人の気持ちや思いを伝えた上で、自分の生活を見つめ直しました。

まゆみって、どんな女の子？

- ・ほしがり！
- ・よくばり！
- ・あきっぱい！



まゆみに足りなかった

気持ちって何だろう？

- ・物を大切に作る気持ち
- ・がまんする気持ち



## 《物を無駄にしないで

## 大切にしたい物って？》

(ファミリーカードより)

Yさん：お金を使ってカードを無駄に買わないようにしてほしい。

Rさん：自分で買った物を大切にしたい。

Mさん：みんなが持っているから・・・、お姉達ばかり・・・など、欲しいと思う物はどうしても手に入れたがる。でも、手に入れても見向きをしない物もたくさんある。

Kさん：鉛筆や消しゴムを無くしたり、ボロボロにしてしまう。衣服や持ち物を忘れてなくしたりしても平気な顔でいる。

Dさん：欲しくて買ったはずのカードを、部屋に散らかしたままにしている。

みんなにもあるね・・・

- ・空き箱を工夫して、整理箱や物入れにして使っているよ。
- ・短くなった鉛筆はキャップをつけて使ったり、コンパス用にしたりして使っているよ。

《物を無駄にしないで工夫しながら大切に使ってくれたとき、  
おうちの人はどうな気持ちになったのかな？》

(ハートフルカードより)

Mさん：保育園の頃から使用している物でも「もったいない」「なつかしい」と  
言って、思い出を大切にしながら使ってくれるので嬉しい。

Tさん：お金を出してかってあげる物を大切に使ってくれるので嬉しい。大人に  
なっても忘れないで欲しい。

Yさん：外見や見栄にとらわれず、機能的に多少の不都合があっても物を大切に  
使うという気持ちを持ち続けて欲しい。

Fさん：常に新しいものに興味・好奇心を持つのは分かるが、すぐ何でも手にはいるという気持  
ちは改めなければと考えている。今、現在ある物を利用するという心を育てていきたい。

Mさん：お下がり洋服も不満を言わずに着ているので、「ごめんね」と思い  
ながらもありがたく嬉しい。

Mさん：なくしたから、壊れたからすぐ買うのではなく、これからもいろいろ  
な物を大切に使って欲しい。

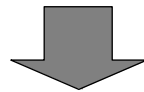
Sさん：キャラクター物など飽きて使わなくなる物もあるが、たとえ一つの物  
でも大事に使おうとしている気持ちが嬉しい。

Sさん：友達が新しい道具を次々と買ってもらう中で、物を大切にしない  
にわざと買ってあげなかった。自分で使う道具、みんなで使う道具を大切にしようとする気持ちが芽生え  
てきたことは嬉しい。

今回も素敵なメッセージありがとうございました。子ども達は、このメッセージの紹介を始め  
ると、集中して聞き入ります。「だれかな、自分かな」とワクワクしながら今までの自分の姿を  
見つめ直しているようです。子ども達なりにお父さんやお母さんの思いに答えようとしている  
姿が、とてもかわいく感じられました。



授業を通して子ども達を感じたこと！！



私は今まで、かわいくない物  
や古い物を捨ててしまったり、  
「ゲームを買って」とがまんでき  
ずにねだって買ってもらったり  
していました。でも、今日勉強  
してみて、これからはおねだ  
りをしないで、かわいくない物、  
古い物でも大切にしていきたい  
です。

今まで、ずっと大切にしていた物もあったけど、最近  
ではすぐ飽きてしまうことが多いので気を付けたいと思  
いました。それに、すぐ「ほしいなあ」と思ってしまう  
のを直していきたいです。逆に、ずっと大切にしている  
物はこれからも大切にしていきたいです。今日の勉強で  
強く思ったのは、流行に合わせようと思うのは良くない  
ことだと前より思ったし、ちゃんとよく考えてから買う  
ことがいいんだなあと思いました。

今までは、自分の物に責任を持っていなかったけど、勉強して、自分の物に責任をもとうと  
思いました。わけは、自分が欲しいと思って買ってもらった物を粗末にしていると、そのうちい  
らない物が増えるし、親にも迷惑をかけるからです。これからは、物を長く使ったり、粗末にし  
たりしないようにしたいです。

道徳だより 5年 組

# 心の旅

NO. 3



- 1、資料名「くずれ落ちただんボール箱」
- 2、ねらい

困っている人を見たらその人の身になって考え、親切にしようとする心情を育てる。

- 3、資料のあらすじ

孫が崩してしまっただんボール箱を、おばあさんに代わって「わたし」と友達の友子が整理をする。しかし、事情を知らない店員に叱られてしまう。3学期の始業式で、店員からの謝りの手紙を聞いて二人の心は明るくなる。たとえ、人に認められなくても相手の立場や気持ちを考え、だれに対しても温かく接することの大切さに気付かせようとする内容です。

- 4、授業の流れ

ファミリーカードを基に、優しさが感じられた出来事について発表し、その時の気持ちについて自分を振り返りました。

資料を読んで、私がなぜおばあさんの手伝いをしたのか、店員に叱られてどんな気持ちになったのか、お礼を言われたときどんな気持ちになったのかなどについて考えていきました。

今まで考えてきたことを基に、自分の生活を見つめ直しました。

叱られた時、どんな気持ちだったかな？

- ・ どうして怒られるの？
- ・ 悪いことしてないのに・・・
- ・ 手伝わなければよかった。



お詫びの手紙を聞いて、どう思ったかな？

- ・ 親切にして良かった。
- ・ 気持ちがすっきりした。
- ・ 分かってもらえて良かった。



親切って、何が大切なのかな？

- ・ ほめられたいからやるんじゃない！
- ・ 相手の立場や気持ちを考えること！
- ・ 困っていたら、知らない人でも！

とうとう、最後の授業になってしまいました。今回のファミリーカードやハートフルカードに書かれていた出来事には、「親の体調が悪い時に声をかけてくれたり手伝ってくれる」、「荷物を自分から持ってくれる」という内容が多かったです。そして、子どもへの思いとして、親にだけじゃなく、他の人にも優しく接することができようになって欲しいということがたくさん書かれていました。そんな気持ちや思いを、少しでも感じ取って欲しいと願いつつ授業をしました。

## 《優しさが感じられた出来事と

### その理由って？》

(ファミリーカードより)

Nさん：弟が分からないところを、優しく教えてあげる。

理由 教えたときに理解してもらおうと嬉しいから。

Fさん：親の体の調子が悪いとき、「大丈夫」と心配そうに声をかけ進んで手伝ってくれる。

理由 勿論心配するし、何も言わないよりは声をかけた方があいても少しは元気になると思った。

Rさん：友達が困っている時に助けてあげる。

理由 友達が困っていると自分のことのように思い、考えてあげてしまう。友達も、自分のことを同じように思ってくれるから。



## 《 子どもから優しくされたとき、どんな気持ちや思いをもったのかな？ 》

(ハートフルカードより)

Kさん：買い物などで手荷物が増えたときなど、「俺が持ってやるよ」と言って荷物を持ってくれた。大変そうなのを見て、助けてあげようという気持ちを行動に移してくれたのが嬉しかった。他の人にも、優しくしてくれたらいいなあと思った。

Hさん：妹や弟の面倒をみてくれる。「お母さんて大変だな」と思ってくれているみたいで、思いやりがあるなあ嬉しく思った。助かっています。

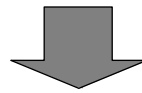
Sさん：親の体調が悪いと、食事の世話やマッサージをしてくれる。子どもの成長や優しさ感謝し、嬉しく思った。相手の立場や気持ちを理解し、人に優しく接することができる強い人間になって欲しい。

Mさん：父や母が夜勤の時、いつも見ている番組を録画しておいてくれる。夜勤でフラフラになりながら帰ってきた後、片付けなどを終えやっと腰を落ち着かせ撮ってくれたビデオを見ながらゆったりすることで、心も体も癒された気分になります。そして、そんな子どものさりげない優しさで、「また明日からも頑張ろう」と大きな力をもらいます。

おうちの人の気持ちを知ること、少しでも優しくされた側の気持ちを理解してもらえるといいなあと思います。そして、する側もされる側も、お互いが気持ちよくなれるのが親切であり、相手を思いやることを意識しながら生活して欲しいと思います。



## 授業を通して子ども達を感じたこと！！



ぼくは今まで、手伝うというのがあまりありませんでした。家族の人だったらたまに手伝うことはあるけど、他人のお手伝いというのはありませんでした。この勉強を聞いて思ったことは、他の人にでもちゃんと手伝うということが分かりました。わたしや友子さんみたいに、他の人にでも「ほめられる」「お礼がもらえる」などと思って手伝っているのではなく、人のためにやっているということが伝わってきました。ぼくは今度から、知らない人(他人)でもちゃんと手伝いたいし、困っているときは助けたいと思いました。もちろん、家族にも手伝いたいです。

この前病院に行った時、席の向かい側の人の帽子が落ちていました。お母さんがその事に気づき、私に「拾ってあげて」と言いました。少し戸惑ったけど拾ってあげたら、「ありがとうございます」と言われました。初めは戸惑ったけど、拾ってあげてお礼を言われてすっきりしたので、これからは自分から進んで知らない人にでも拾ってあげたいです。

私は今まで、困っている人を見ると「助けたい」と思ったけど、どう声をかけていいか分からなくて、そのまま見過ごしていました。でも、主人公の『わたし』は自分から助けていて、私とは違うなと思いました。なので、これからは知っている人でも知らない人でも、自分から進んで声をかけてあげたいです。

道徳だより 5年組

# 心の旅

NO.4



温かいメッセージを、ありがとうございました。

## ご協力、ありがとうございました

あっという間に3週間が終わり、今日で最後となってしまいました。ご家庭の皆様にはお忙しいところ、ファミリーカード、ハートフルカードにご協力いただきましてありがとうございました。前回までの道徳だよりでもお伝えしましたように、カードの内容を紹介するときは全員の関心が高まり、集中していました。この時感じた気持ちを忘れず、これからの生活を送って欲しいと思います。

1回目は発言がなかなかなく、不安な気持ちのまま授業を終えることとなりました。2回目3回目は、少しずつ自分の考えを発表してくれるようになり、ほとんどの子どもの声を聞くことができました。友達の考えと自分の考えを比べながら意見を話すこともできました。回を増すごとに子ども達の本来のよさが出てきて、良かったなあと思いました。

家族の意見を素直に聞けない年頃ではありますが、今回子ども達を見ていて、心の中では子ども達なりに受け止めていることを感じました。是非この機会に、ご家庭でも気になる子どもの行為や、保護者の皆様の気持ちや思いを意識して話す機会を作っていたらとありがたいと思います。

本当に、ありがとうございました。